

島本町立第一中学校 授業研究会

～「探究学習」及び「非認知能力」の育成と「自学自習力」の向上～

令和7年12月5日(金)

大阪教育大学 辻本 堅二

はじめに

アントレプレナーシップ 起業体験

- ・クラスの班ごとに企画書（解決に貢献したい社会課題, 起業の内容, 利益をどのように活用するか）を作成
- ・班ごとにプレゼン → 採択 → クラス単位で取り組む ※大阪教育大学附属池田中学校 2年生の実践より（映像は令和7年10月24日）

池田地区が考える「アントレプレナーシップ」は、「発想力」「チャレンジ精神」「行動力」「自責思考」「忍耐力」であり、それら資質・能力をもとに、国や文化を超えたグローバルな視点で世界や社会の課題を解決すべく、**未来志向の新たな価値観を創造**し、社会を改革するグローバルリーダー（社会を牽引する実力ある探究人）の輩出をめざしている。

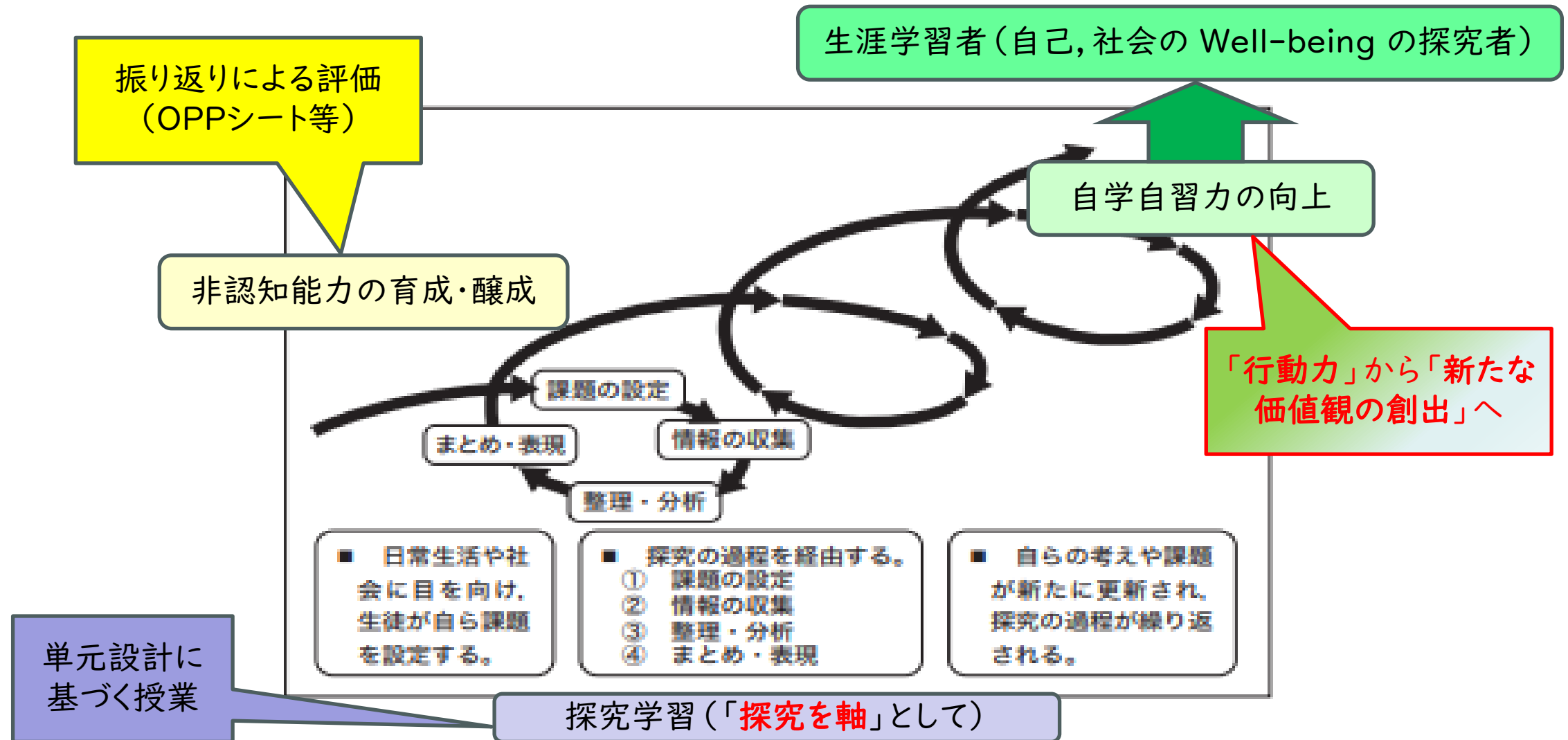
目的：**新たな価値観の創出**

自己肯定感 自己有用感

手段：**社会貢献活動（起業体験）**

「発想力」「チャレンジ精神」「行動力」「自責思考」「忍耐力」

「探究学習」及び「非認知能力」と「自学自習力」の構造



参考：「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示） 総合的な探究の時間編解説， 文部科学省，平成 30 年 7 月」

Contents

- ・はじめに ～「アントレプレナーシップ」の視点～
 - － 目的は「新たな価値観の創出」
「探究学習」「非認知能力」「自学自習力」の構造化
- ・ 現状課題と次期学習指導要領に向けた基本的な考え方
- ・ 深い学びにつながる単元設計
 - － 逆向き設計 見方・考え方 単元設計
- ・ 学習評価の考え方と非認知能力の見取り
 - － 新たな学習評価の考え方
 - － 非認知能力の見取り(試案)
- ・ さいごに

現状課題と次期学習指導要領に向けた基本的な考え方

論点整理①（教育課程企画特別部会 令和7年9月25日）



教育課程企画特別部会

論点整理

令和7年9月25日
中央教育審議会
教育課程企画特別部会

令和7年9月25日 中央教育審議会 教課程企画特別部会 から 「論点整理」

目次

本特別部会においては、令和6年12月の文部科学大臣による諮問を受け、初等中等教育分科会や教育課程部会への報告を交えつつ、教育課程の枠組みに関する事項や教科横断的な事項を中心として審議を行ってきた。今般、13回にわたる検討の結果を暫定的に取りまとめ、今後の本特別部会における更なる検討の深化や各WG等での検討の前提として整理した。

第一章 次期学習指導要領に向けた基本的な考え方	… P2	第四章 情報活用能力の抜本的向上と 質の高い探究的な学びの実現	… P47
第二章 質の高い、深い学びを実現し、 分かりやすく使いやすい学習指導要領の在り方	… P7	(1) 情報活用能力の抜本的向上	… P48
(1) 中核的な概念等を活用した一層の構造化・ 表形式化・デジタル化	… P8	(2) 質の高い探究的な学びの実現	… P55
(2) 「学びに向かう力、人間性等」の再整理	… P15	第五章 「余白」の創出を通じた教育の質の向上の在り方	… P62
(3) 「見方・考え方」の再整理	… P19	第六章 豊かな学びに繋がる学習評価の在り方	… P70
(4) デジタル学習基盤を前提とした学びの在り方	… P22	第七章 その他諮問で提起された事項の在り方	… P79
学習指導要領と「個別最適な学びと協働的な学び」 の関係の在り方	… P22	(1) カリキュラム・マネジメントの在り方	… P80
第三章 多様な子供たちを包摂する柔軟な教育課程の在り方	… P25	(2) 高等学校入学選抜	… P82
(1) 検討の前提（児童生徒の実態と現行制度の枠組み）	… P26	(3) 産業教育	… P84
(2) 義務教育段階（「調整授業時数制度」の創設等）	… P30	(4) 特別支援教育	… P90
(3) 高等学校段階における教育課程の柔軟化	… P35	(5) 幼児教育	… P96
(4) 個別の児童生徒に係る教育課程の編成・実施 の仕組み	… P42	(6) 子供のより主体的な社会参画に関わる教育の改善	… P100
		第八章 今後の検討スケジュールや検討の在り方等	… P104
		審議経過	… P107

※本論点整理において「学習指導要領」という際、第一章～第二章においては「幼稚園教育要領」を含む

論点整理② 教育を取り巻く構造変化

新たな社会 “Society 5.0”

5.0



4.0

Society 4.0 情報

【出典】内閣府

Society 5.0

1.0
Society 1.0 狩猟

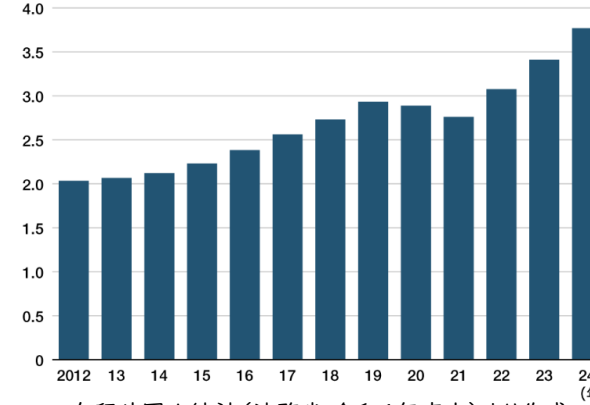
2.0
Society 2.0 農耕

Society 3.0 工業

3.0

在留外国人数の推移

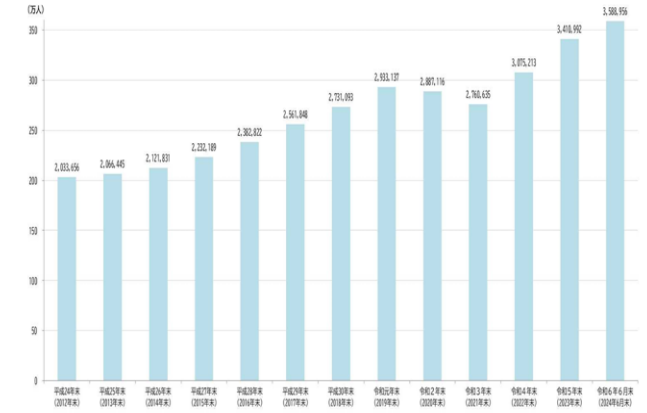
(百万人)



在留外国人統計(法務省 令和6年度末)より作成

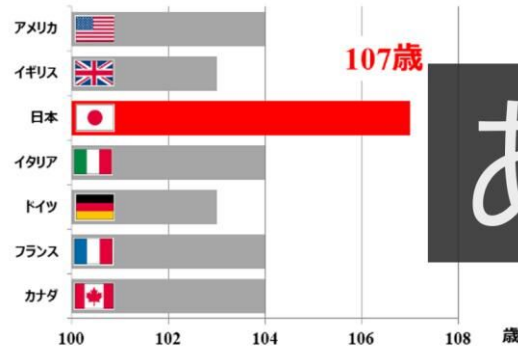
グローバル化

【第1図】在留外国人数の推移



【出典】海外在留邦人数調査統計(外務省 令和6年6月末)

2007年生まれば、107歳まで生きる確率50%

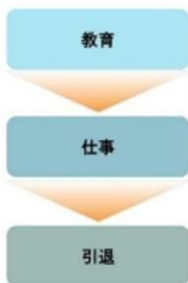


(出典: Human Mortality Database, University of California, Berkeley(USA), and Max Planck Institute for Demographic Research(Germany). Available at www.mortality.org)

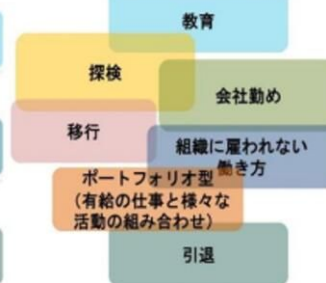
人生100年時代

3ステージではなくマルチステージの人生

3ステージのモデル



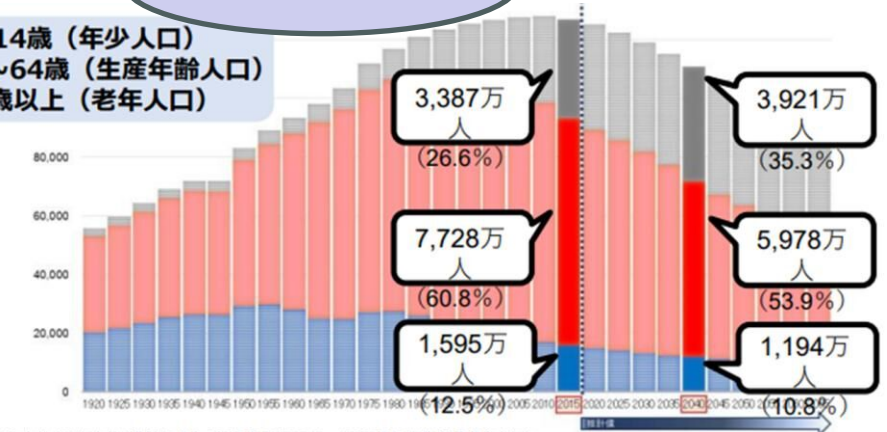
マルチステージの人生



【出典】平成29年9月11日 人生100年時代構想会議資料4-2 リンダ・グラットン議員提出資料(事務局による日本語訳)より

人口減少

■ 0~14歳 (年少人口)
■ 15~64歳 (生産年齢人口)
■ 65歳以上 (老年人口)

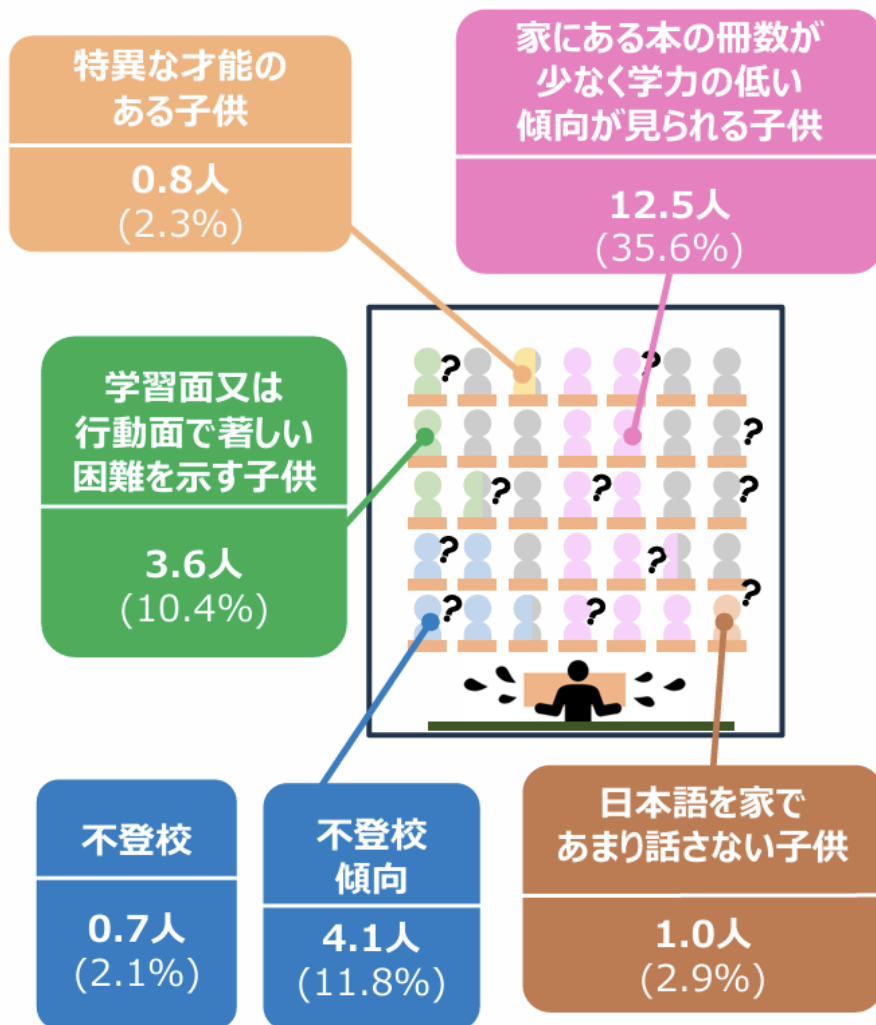


※推計値は出生中位(死亡中位)推計による。実績値の1950年~1970年には沖縄県を含まない。1945年については、1~15歳を年少人口、16~65歳を生産年齢人口、66歳以上を老年人口としている。

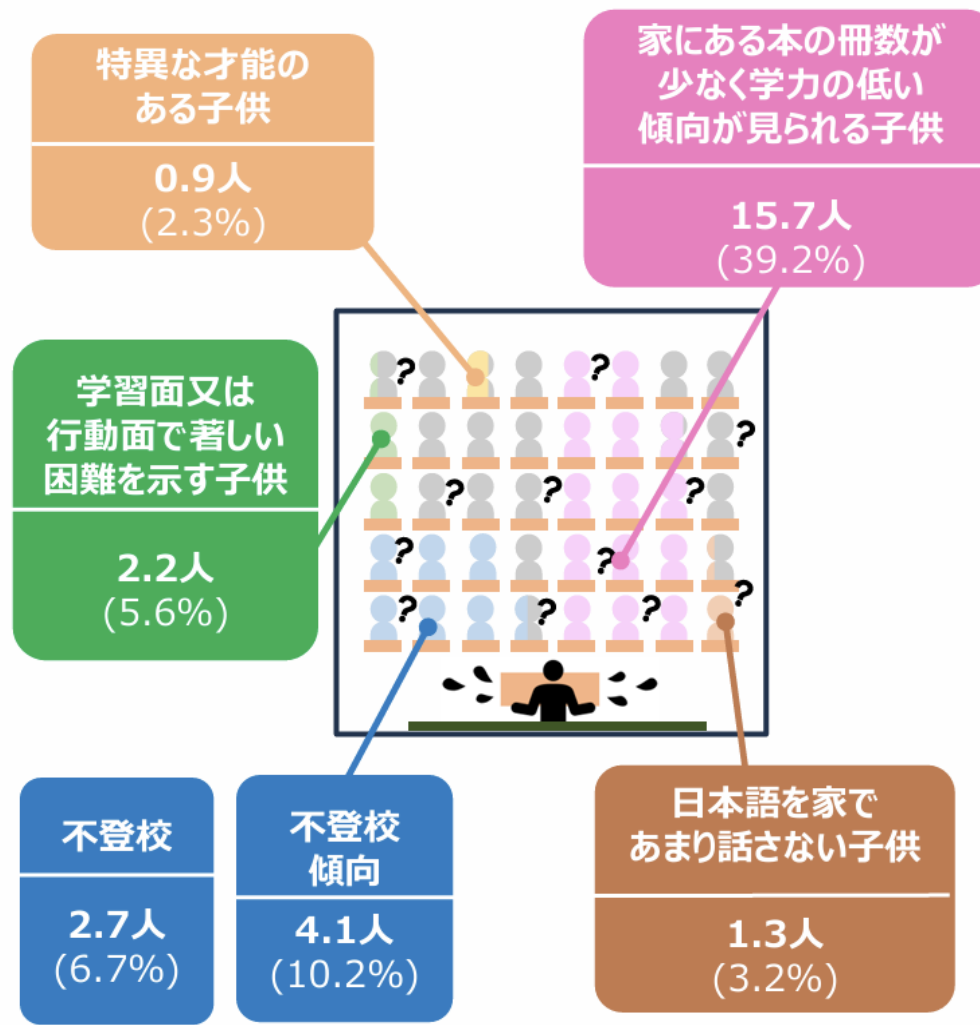
【出典】1920年~2010年:「人口推計」(総務省)、2015年~2065年:「日本の将来推計人口(平成29年推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)

論点整理③ 児童生徒の多様性を包摂する必要性 (小・中)

小学校 (35人学級)



中学校 (40人学級)

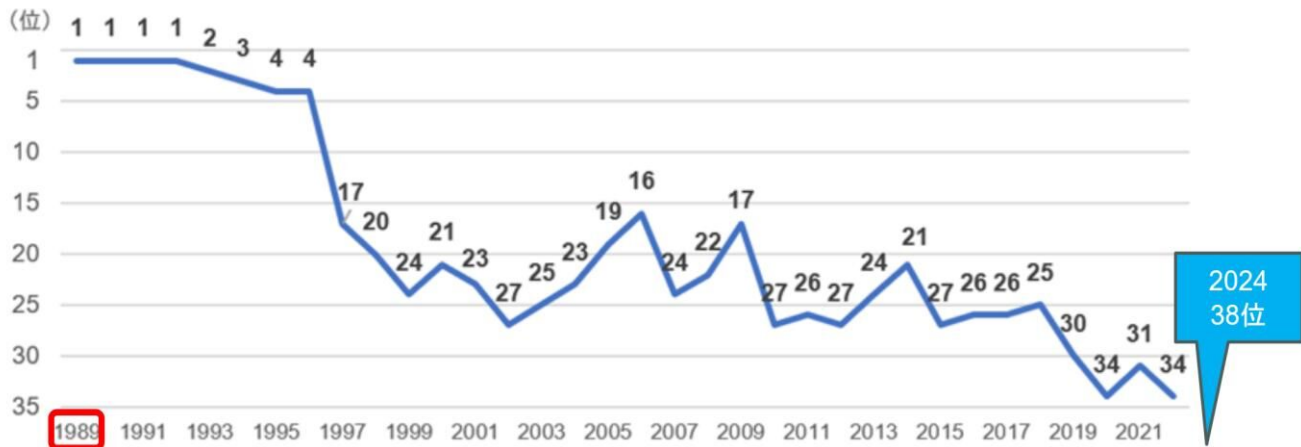


※各数字の出典は諮問参考資料P45,46参照

https://www.mext.go.jp/content/20242127-mxt_kyoiku01-000039494_03.pdf

論点整理④ 我が国の経済状況と若者に求められる資質・能力

図表2 日本の総合順位の推移

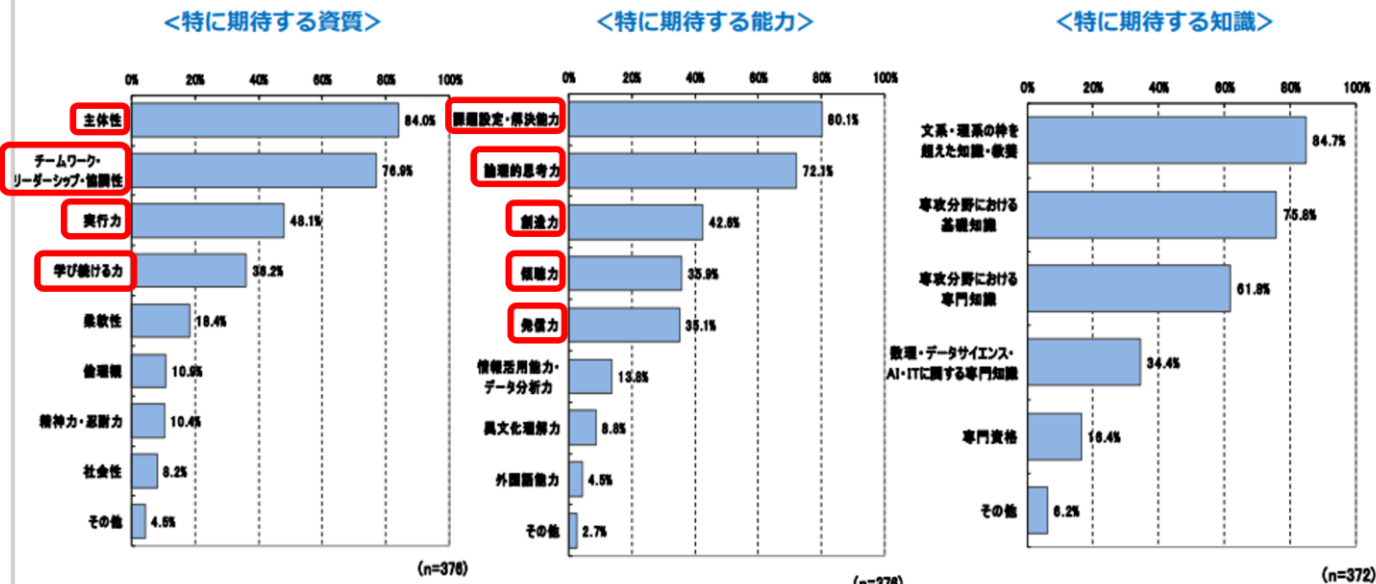


世界競争力(経済)の低迷
昨年は38位

出所：IMD「世界競争力年鑑」各年版より三菱総合研究所作成

社会からの要請
「期待する資質・能力」

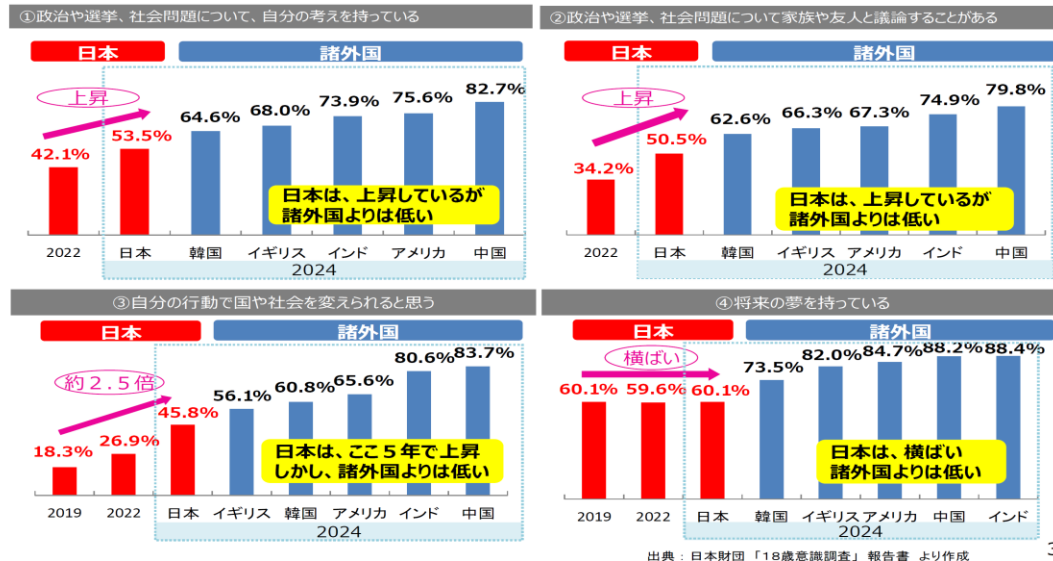
「主体性」「協働力」「実行力」「学び続ける力」「課題設定・解決能力」「論理的思考力」「創造力」etc.



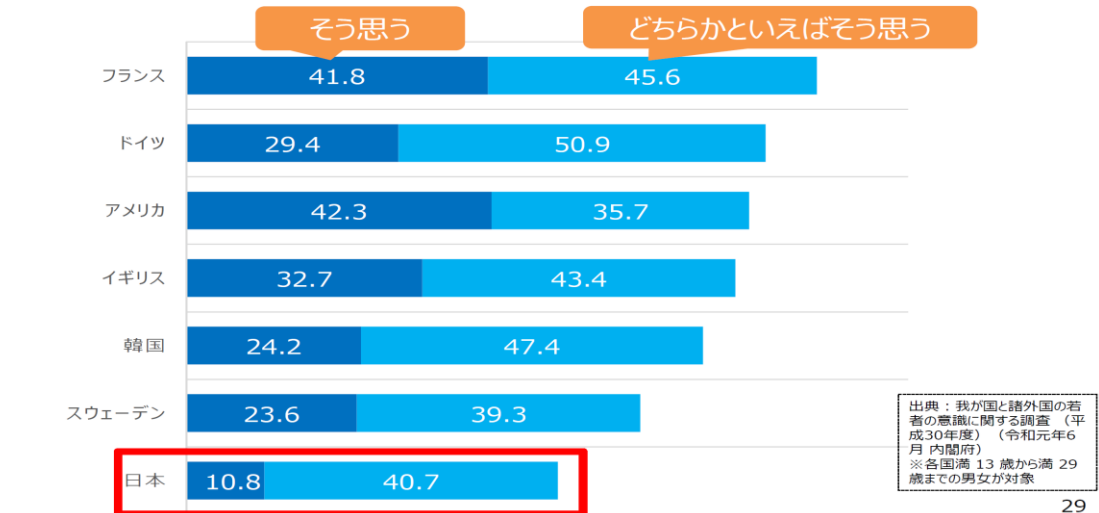
採用と大学改革への期待に関するアンケート結果(2024年1月18日 日本経済団体連合会)より

論点整理⑤ 日本と諸外国の若者の意識調査から

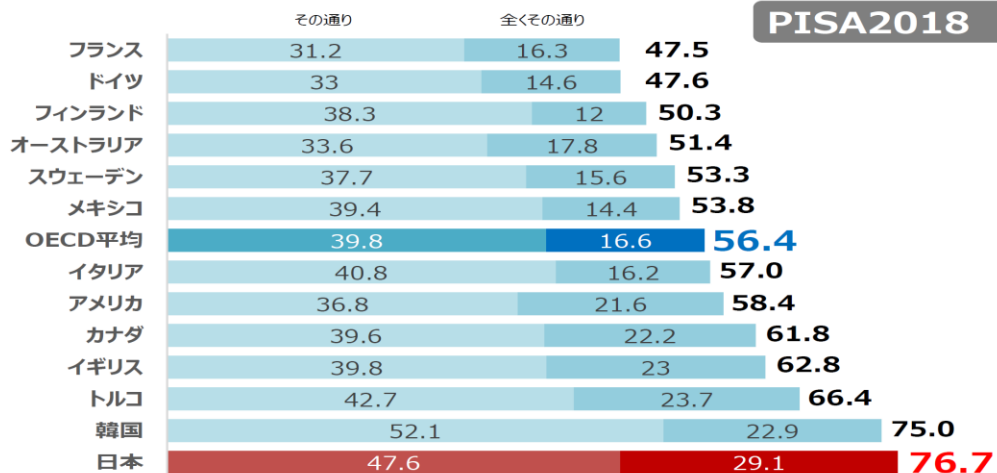
社会に対する若者の意識が諸外国に比べて低い



うまくいかわからないことにも意欲的に取り組む割合が諸外国より低い

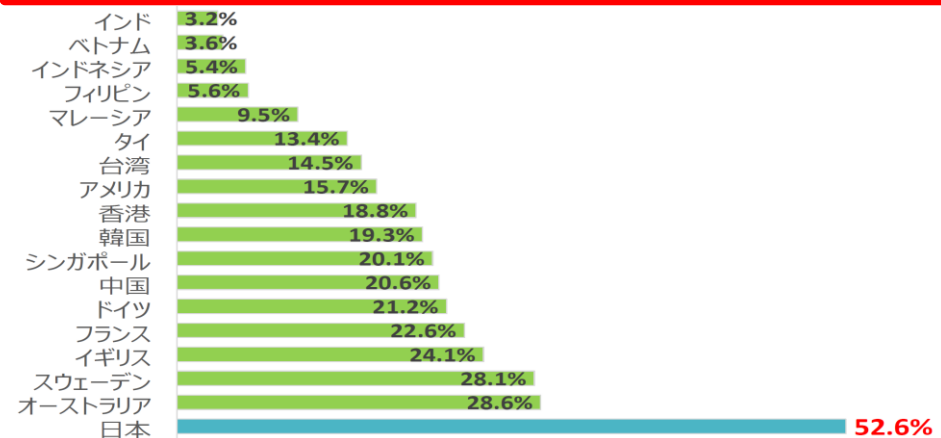


失敗を恐れる生徒が多い



出典：OECD PISA 2018質問紙調査
「失敗しそうとき、他の人が自分のことをどう思うか気になる」
「その通りだ」「全くその通りだ」

社会人になってからも自己研鑽・自己啓発を行わない人の割合が高い



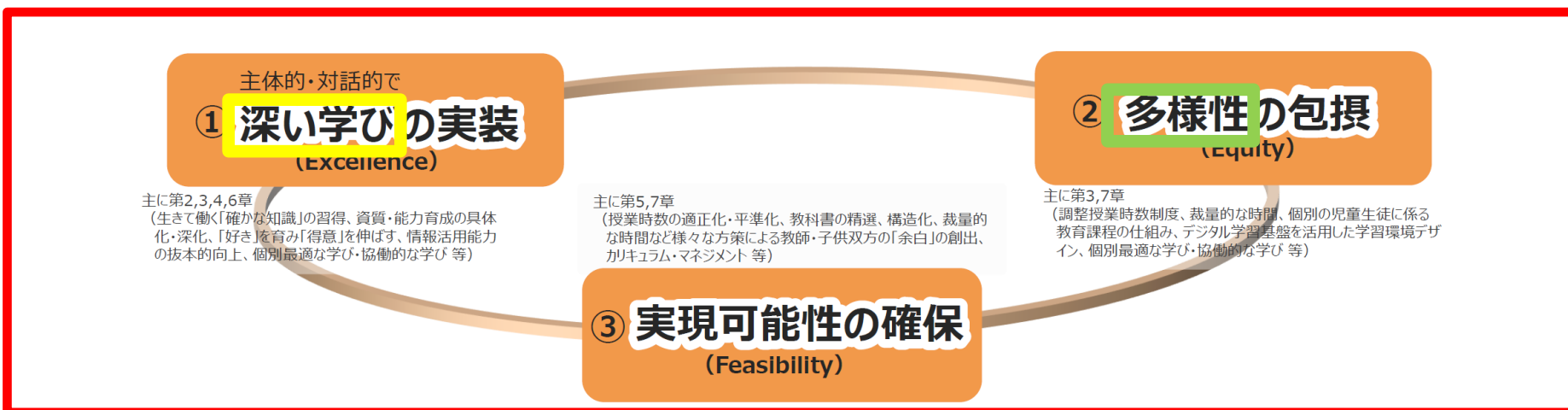
出典：パナソニック総合研究所「グローバル就業実態・成長意識調査（2022年）」

論点整理⑥（教課程企画特別部会 令和7年9月25日）

次期学習指導要領に向けた検討の基盤となる考え方

補足イメージ1-①

～あらゆる方策を活用し、三位一体で具現化～



学びをデザインする高度専門職としての教師 デジタル学習基盤をはじめとする基盤整備
「裁量的な時間」をはじめ柔軟な教育課程による余白 総合的な勤務環境整備

多様な子供たちの「深い学び」を確かなものに

生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら、
自らの人生を舵取りすることができる 民主的で持続可能な社会の創り手 をみんなで育む

論点整理⑦（教課程企画特別部会 令和7年9月25日）

「主体的・対話的で深い学び」の実現を通じた

補足イメージ1-②

自らの人生を舵取りする力と**民主的で持続可能な社会の創り手**育成（今後の検討イメージ）

「好き」を育み、「得意」を伸ばす
（興味・関心）

×

当事者意識を持って、自分の意見を
形成し、対話と合意ができる

【各教科等での検討イメージ】

好き・得意をベースとした
主体的な進路選択の促進

高
中
小
幼

課題設定
の充実

グループ探究
個人探究

総合

生きて働く「確かな知識」の習得

興味・関心が広がる
教材・学習方法の選択を促進

自分の意見を表現する活動の充実

探究的な要素を持つ学習活動の充実

家庭学習の内容を自律的に決めら
れるような段階的指導
（家庭学習はじめ学習習慣の確立を含む）

各教科等

児童生徒主体のルール
形成や学校生活改善、
行事の創造等の明確化
（みんなが学びやすいルールや環
境の構築を含む）

納得解を形成しようとす
ることの重要性の明文化
（安易な多数決の回避や少数意
見の吟味）

特別活動

考え、議論する
道徳の徹底

（主体的な判断の
重要性、知・徳・体
の調和のとれた発達
に向けた、道徳的価
値の対立を乗り越え
る必要性や道徳的
実践の強調）

道徳

言葉を用いて思考を深めていく指導

他者と関わり協同する力の育成

多様な子供を誰一人取り残さない
視点としての個別最適な学びと協
働的な学びの一体的充実

科学的知見も生かした
効果的な指導計画・授業方法
児童生徒の学習方略の指導

障害や認知特性等
多様な実態を踏まえた調整
（教科等、家庭学習含む）

全ての活動の基盤としての
心理的安全性の確保

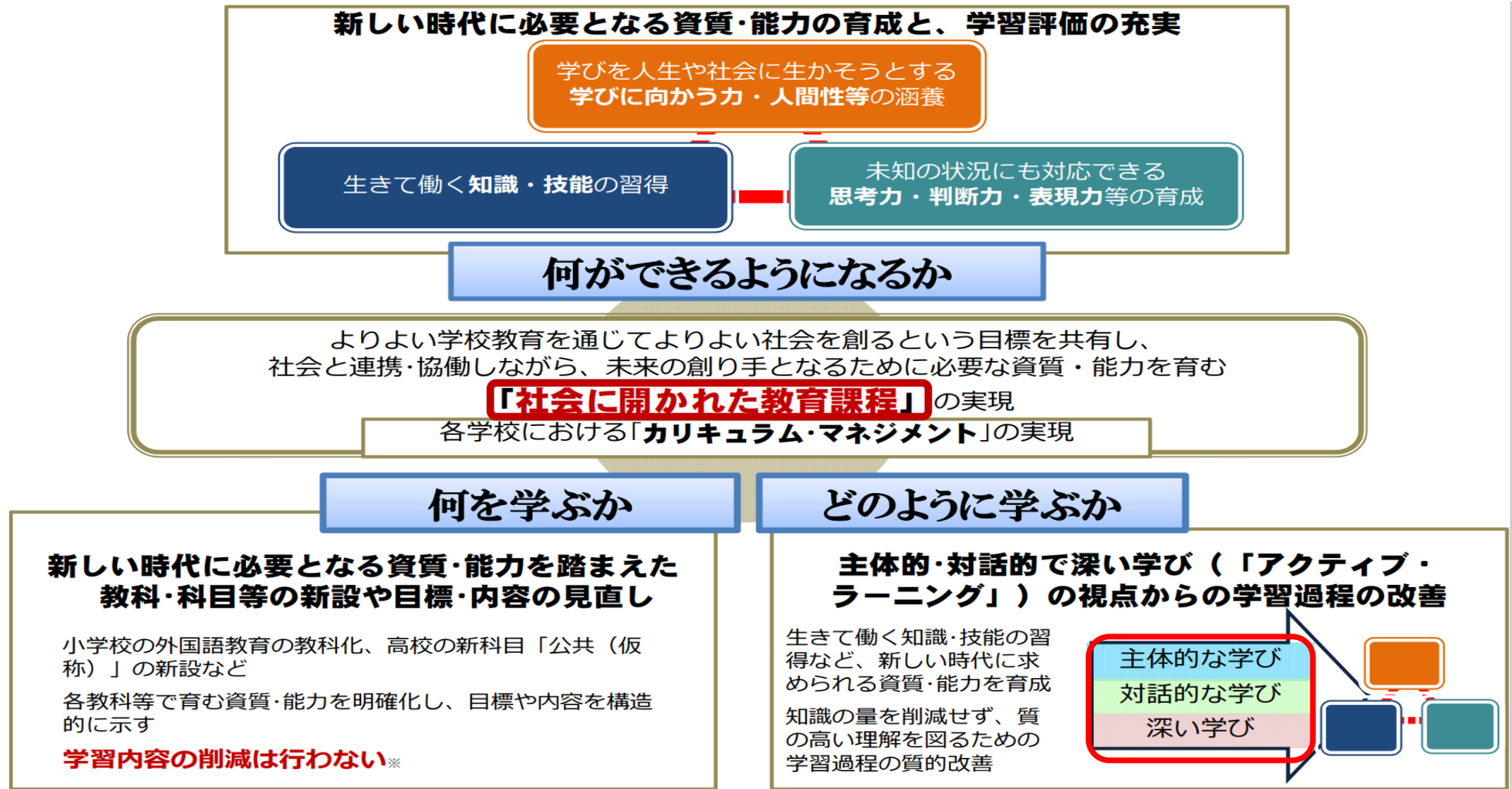
学びをデザインする高度専門職としての教師
「裁量的な時間」をはじめ柔軟な教育課程による余白

デジタル学習基盤をはじめとする基盤整備
総合的な勤務環境整備

※本イメージ図は、自らの人生を舵取りする力と民主的で持続可能な社会の創り手育成という今後の検討の一部を資料化したものであり、学習指導要領の改訂に関わる全ての要素を網羅する性質のものではない

6

論点整理⑧ 学習指導要領等がめざす姿(1)



「論点整理のまとめ（平成27年8月 文部科学省）」より

論点整理⑨ 学習指導要領等がめざす姿(2)

主体的・対話的で深い学びの実現 (「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善)について(イメージ)

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的(アクティブ)に学び続けるようにすること

【主体的な学び】

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「**主体的な学び**」が実現できているか。

【例】

- 学ぶことに興味や関心を持ち、毎時間、見通しを持って粘り強く取り組むとともに、自らの学習をまとめ振り返り、次の学習につなげる
- 「キャリア・パスポート(仮称)」などを活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりする



主体的な学び
対話的な学び

深い学び

【対話的な学び】

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「**対話的な学び**」が実現できているか。

【例】

- 実社会で働く人々が連携・協働して社会に見られる課題を解決している姿を調べたり、実社会の人々の話を聞いたりすることで自らの考えを広める
- あらかじめ個人で考えたことを、意見交換したり、議論したり、することで新たな考え方に気が付いたり、自分の考えをより妥当なものとしたりする
- 子供同士の対話に加え、子供と教員、子供と地域の人、本を通して本の作者などとの対話を図る



【深い学び】

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「**深い学び**」が実現できているか。

【例】

- 事象の中から自ら問いを見だし、課題の追究、課題の解決を行う探究の過程に取り組む
- 精査した情報を基に自分の考えを形成したり、目的や場面、状況等に応じて伝え合ったり、考えを伝え合うことを通して集団としての考えを形成したりしていく
- 感性を働かせて、思いや考えを基に、豊かに意味や価値を創造していく

学びを人生や社会に
生かそうとする
学びに向かう力・
人間性等の涵養

生きて働く
知識・技能の
習得

未知の状況にも
対応できる
思考力・判断力・表現力
等の育成



深い学びにつながる単元設計

単元設計① 中教審 教育課程企画特別部会 より(1)

(学習指導要領の活用)

- ・教科横断的な視点によるカリキュラム・マネジメントが遅々として進まない現状がある。各教科で「社会に開いている部分は何か」をもっと見つめていく必要がある。

(教科書や教師用指導書の活用)

- ・教科書は、「教育課程の構成に応じて組織配列された教科の主たる教材」であることが理解されておらず、**やらされ感の下での教科書をこなす授業**が少なくない。教科書が最後まで終わらない場合、保護者からの苦情が来ることもある。
- ・教科書を「しっかり教えなければならない」「終わらせなければならない」という**教科書至上主義の呪縛**が依然としてある。
- ・授業を行う際は、**教師用指導書**や**How to 本を参考にする**。授業を行う前に、まずは教師用指導書を確認し、それを**なぞるだけの授業**を行う。教師用指導書は、本時の流れや発問も書かれており、教材研究が短時間で済み、それで教材研究を行ったつもりになる。目の前にいる児童生徒の実態を鑑みしていないので**授業がファストフード化**し、進度は順調であっても、**子どもの学びが浅くなっている**。また、理解や学びが深くないことを児童生徒のせいにすることもある。

(授業のデザイン 教材・児童生徒・指導観)

- ・**一斉授業が主**であり、答えは教師が後ろ手で隠している。教師はとにかくよくしゃべり、児童生徒は**我先に正解を言い当てにいき、一問一答**で授業が進んでいる。
- ・いちいち学習指導要領や教師用指導書を見なくても、**何年も使っている自作プリント**など過去の教授履歴通り進めば、授業ができるので何も困っておらず、いわゆる「**廊下での教材研究**」に終始している。**自分が受けてきた授業の再生**から抜け出せず、観点別評価の意味もよく理解されていない。また、**プリント学習のこだわり**(プリントのデジタル化を含む)から抜け出せていない。

「学習指導要領を活用した授業づくり」 R7.2.17 教育課程企画特別部会 資料 より 抜粋

単元設計② 中教審 教育課程企画特別部会 より(2)

(授業のデザイン 教材・児童生徒・指導観)

- ・とにかく、児童生徒が問題を解けるようになればよい。そのためにドリル等を使用し、反復練習を重視している光景がよくみられる。
- ・**授業の軸がぶれ、方法論のみにこだわっている**ケースも散見される。
- ・様々な「〇〇メソッド」「〇〇スタイル」が氾濫し、教材や内容の検討(**教材観**)や、児童生徒の「実態把握(**児童生徒観**)」が希薄になり、**指導観が借り物**になってしまっている。

(授業のデザイン 単元計画・評価計画の作成)

- ・**本時主義**に陥っており、授業の計画は一単位(小:45分・中:50分)のみで考えている。評価についても毎時間行わなければならないと思っている。
- ・**指導に生きる評価**が甘く、**指導と評価の一体化が看板倒れ**に終わっている。そもそも、授業が学習評価にまで行きつかないケースも見られる。また、評価が**一時代前の価値(関心・意欲・態度など)**で評価をしてしまっている場面がある。

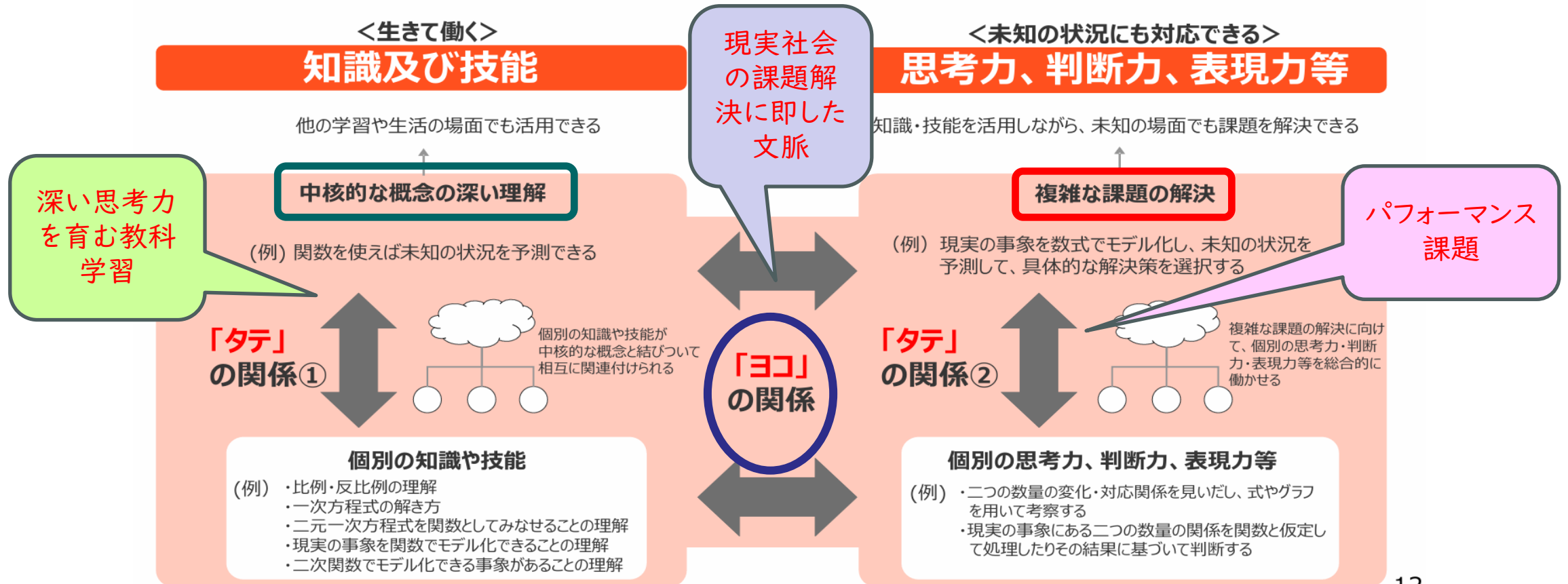
(授業のデザイン 学習環境の整備)

- ・ICT機器などを使用することに抵抗感を持っており、チョーク & トーク型授の授業から抜け出せていない。
- ・**端末の利用が目的化**しており、授業がスマートであっても、**深い学び**になっていない授業も散見される。

「学習指導要領を活用した授業づくり」 R7.2.17 教育課程企画特別部会 資料 より抜粋

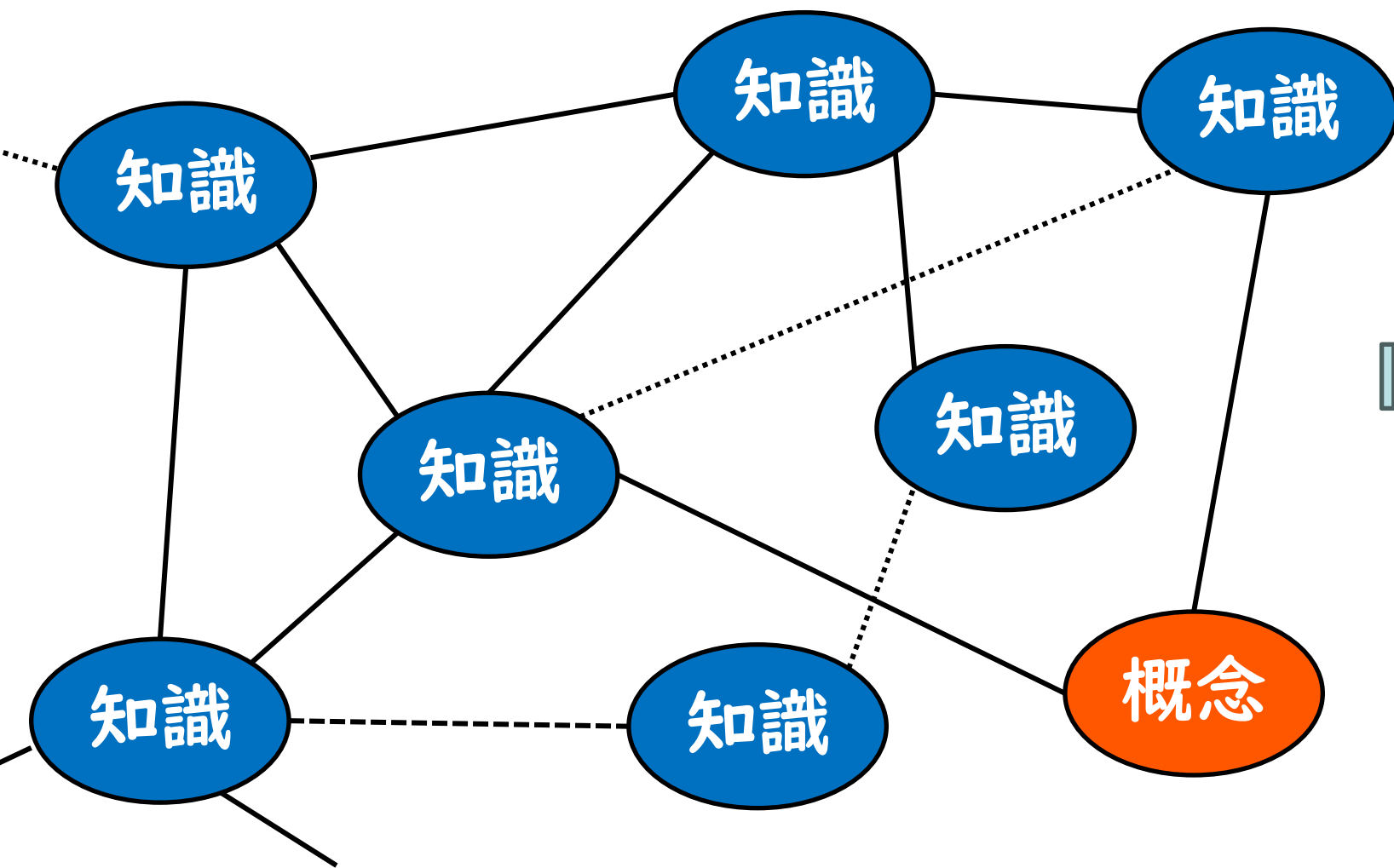
単元設計③ 「タテ・ヨコの関係」の可視化による「深い学び」の具現化

- 知識の理解も、それが生きて働くように深く学ぶことが重要（タテの関係①）。思考力・判断力・表現力等も、社会や生活で直面する未知の状況でも課題解決に繋げていけるよう「質」を高めることが重要（タテの関係②）
 - ある程度の知識・技能なしに思考・判断・表現することは難しいし、思考・判断・表現を伴う学習活動なしに、知識の深い理解と技能の確かな定着は難しい（ヨコの関係）
- ➡こうした「タテ・ヨコの関係」を学習指導要領上で可視化することにより、資質・能力の関係性の理解や、それらを一体的に育成するための教師の単元づくりを助け、「深い学び」を授業で具現化しやすくする



単元設計④ 深い思考力を育む教科の学習(1)

持っている知識をつなぐ



アウトプット

新たな
場面で活用

感覚を数値という根拠を持って示す

数学

中学１年生 「データの活用」

大阪教育大学附属池田中学校 井場 恒介先生の実践より

「長方形」って
知っていますか？

大阪教育大学附属池田中学校 井場 恒介先生の実践より

「長方形」って
美しいですか？

大阪教育大学附属池田中学校 井場 恒介先生の実践より

数学

人が思う

美しい長方形って？

E

A

B

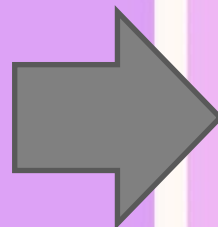
D

C

単元設計⑨ 深い思考力を育む教科の学習(6)

数学

人の
感覚



傾向
ある？

単元設計⑩ 深い思考力を育む教科の学習(7)

アンケートでデータ収集

数学

『自分が美しいと思う長方形』アンケート

Step1 左の枠の中に自分が美しいと思う長方形を綺麗に描く。
Step2 長辺と短辺の長さを定規で正確に測る。
Step3 長辺+短辺を計算し、その値(小数第3位を四捨五入)をGoogleフォームに入力する。

①長辺 (cm)	18
②短辺 (cm)	12
①+② (小数第2位まで)	15

FE = 1.2
FD = 1.8

ご協力お願いします!

『自分が美しいと思う長方形』アンケート

Step1 左の枠の中に自分が美しいと思う長方形を綺麗に描く。
Step2 長辺と短辺の長さを定規で正確に測る。
Step3 長辺+短辺を計算し、その値(小数第3位を四捨五入)をGoogleフォームに入力する。

①長辺 (cm)	385.3cm
②短辺 (cm)	133.9cm
①+② (小数第2位まで)	2.88

FE = 385.3
FD = 133.9

ご協力お願いします!

『自分が美しいと思う長方形』アンケート

Step1 左の枠の中に自分が美しいと思う長方形を綺麗に描く。
Step2 長辺と短辺の長さを定規で正確に測る。
Step3 長辺+短辺を計算し、その値(小数第3位を四捨五入)をGoogleフォームに入力する。

①長辺 (cm)	7.7cm
②短辺 (cm)	14.4cm
①+② (小数第2位まで)	1.87

FE = 7.7
FD = 14.4

ご協力お願いします!

『自分が美しいと思う長方形』アンケート

Step1 左の枠の中に自分が美しいと思う長方形を綺麗に描く。
Step2 長辺と短辺の長さを定規で正確に測る。
Step3 長辺+短辺を計算し、その値(小数第3位を四捨五入)をGoogleフォームに入力する。

①長辺 (cm)	6.6cm
②短辺 (cm)	4.4cm
①+② (小数第2位まで)	1.50

FE = 4.4
FD = 6.6

ご協力お願いします!

『自分が美しいと思う長方形』アンケート

Step1 左の枠の中に自分が美しいと思う長方形を綺麗に描く。
Step2 長辺と短辺の長さを定規で正確に測る。
Step3 長辺+短辺を計算し、その値(小数第3位を四捨五入)をGoogleフォームに入力する。

①長辺 (cm)	60.2
②短辺 (cm)	9.8
①+② (小数第2位まで)	6.14

FE = 60.2
FD = 9.8

ご協力お願いします!

『自分が美しいと思う長方形』アンケート

Step1 左の枠の中に自分が美しいと思う長方形を綺麗に描く。
Step2 長辺と短辺の長さを定規で正確に測る。
Step3 長辺+短辺を計算し、その値(小数第3位を四捨五入)をGoogleフォームに入力する。

①長辺 (cm)	4.4cm
②短辺 (cm)	5619.3
①+② (小数第2位まで)	1277.11

FE = 4.4
FD = 5619.3

ご協力お願いします!

『自分が美しいと思う長方形』アンケート

Step1 左の枠の中に自分が美しいと思う長方形を綺麗に描く。
Step2 長辺と短辺の長さを定規で正確に測る。
Step3 長辺+短辺を計算し、その値(小数第3位を四捨五入)をGoogleフォームに入力する。

①長辺 (cm)	59.5
②短辺 (cm)	42
①+② (小数第2位まで)	1.42

FE = 42
FD = 59.5

ご協力お願いします!

『自分が美しいと思う長方形』アンケート

Step1 左の枠の中に自分が美しいと思う長方形を綺麗に描く。
Step2 長辺と短辺の長さを定規で正確に測る。
Step3 長辺+短辺を計算し、その値(小数第3位を四捨五入)をGoogleフォームに入力する。

①長辺 (cm)	50
②短辺 (cm)	1.1
①+② (小数第2位まで)	45.45

FE = 1.1
FD = 50

ご協力お願いします!

『自分が美しいと思う長方形』アンケート

Step1 左の枠の中に自分が美しいと思う長方形を綺麗に描く。
Step2 長辺と短辺の長さを定規で正確に測る。
Step3 長辺+短辺を計算し、その値(小数第3位を四捨五入)をGoogleフォームに入力する。

①長辺 (cm)	4(cm)
②短辺 (cm)	2.2(cm)
①+② (小数第2位まで)	1.81

FE = 4
FD = 2.2

ご協力お願いします!

『自分が美しいと思う長方形』アンケート

Step1 左の枠の中に自分が美しいと思う長方形を綺麗に描く。
Step2 長辺と短辺の長さを定規で正確に測る。
Step3 長辺+短辺を計算し、その値(小数第3位を四捨五入)をGoogleフォームに入力する。

①長辺 (cm)	21.8
②短辺 (cm)	13
①+② (小数第2位まで)	1.68

FE = 21.8
FD = 13

ご協力お願いします!

『自分が美しいと思う長方形』アンケート

Step1 左の枠の中に自分が美しいと思う長方形を綺麗に描く。
Step2 長辺と短辺の長さを定規で正確に測る。
Step3 長辺+短辺を計算し、その値(小数第3位を四捨五入)をGoogleフォームに入力する。

①長辺 (cm)	7.8
②短辺 (cm)	6.1
①+② (小数第2位まで)	1.28

FE = 6.1
FD = 7.8

ご協力お願いします!

『自分が美しいと思う長方形』アンケート

Step1 左の枠の中に自分が美しいと思う長方形を綺麗に描く。
Step2 長辺と短辺の長さを定規で正確に測る。
Step3 長辺+短辺を計算し、その値(小数第3位を四捨五入)をGoogleフォームに入力する。

①長辺 (cm)	64.8
②短辺 (cm)	31.9
①+② (小数第2位まで)	2.03

FE = 31.9
FD = 64.8

ご協力お願いします!

『自分が美しいと思う長方形』アンケート

Step1 左の枠の中に自分が美しいと思う長方形を綺麗に描く。
Step2 長辺と短辺の長さを定規で正確に測る。
Step3 長辺+短辺を計算し、その値(小数第3位を四捨五入)をGoogleフォームに入力する。

①長辺 (cm)	8.2
②短辺 (cm)	3.8
①+② (小数第2位まで)	8.2+3.8=12

FE = 3.8
FD = 8.2

ご協力お願いします!

『自分が美しいと思う長方形』アンケート

Step1 左の枠の中に自分が美しいと思う長方形を綺麗に描く。
Step2 長辺と短辺の長さを定規で正確に測る。
Step3 長辺+短辺を計算し、その値(小数第3位を四捨五入)をGoogleフォームに入力する。

①長辺 (cm)	13.3
②短辺 (cm)	9
①+② (小数第2位まで)	1.48

FE = 9
FD = 13.3

ご協力お願いします!

『自分が美しいと思う長方形』アンケート

Step1 左の枠の中に自分が美しいと思う長方形を綺麗に描く。
Step2 長辺と短辺の長さを定規で正確に測る。
Step3 長辺+短辺を計算し、その値(小数第3位を四捨五入)をGoogleフォームに入力する。

①長辺 (cm)	165.6
②短辺 (cm)	55.2
①+② (小数第2位まで)	3

FE = 55.2
FD = 165.6

ご協力お願いします!

単元設計⑪ 深い思考力を育む教科の学習(8)

感覚を数値という根拠を持って示す

数学

1000個の生データ

iPadで処理

②データの傾向

イ) 解析対象：外れ値を除いた583人(長辺/短辺比が1以上2未満の回答者)

fig. 3 階級の幅：0.5 n=583

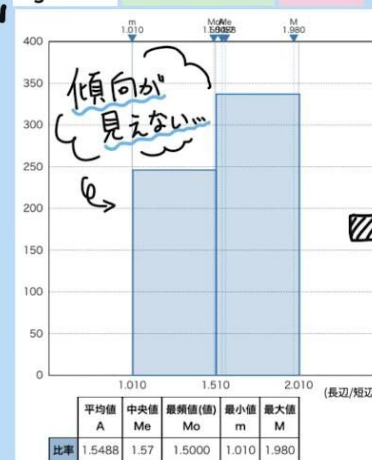


fig. 4 階級の幅：0.3 n=583

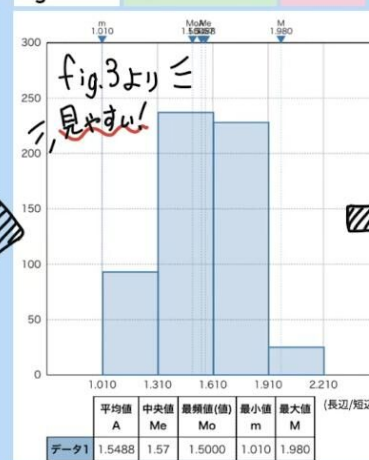
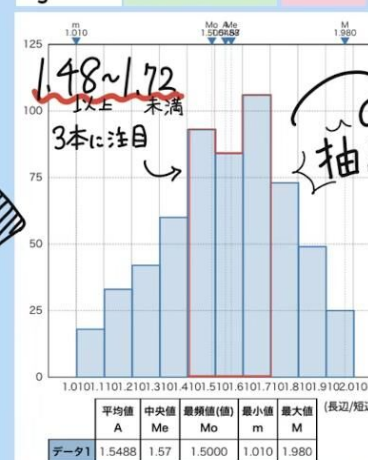


fig. 5 階級の幅：0.1 n=583



ロ) 解析対象：長辺/短辺比が1.48以上1.72未満

fig. 6 階級の幅：0.1 n=248

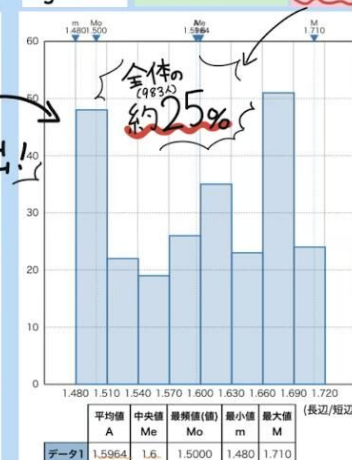


fig.3,4,5のようにヒストグラムの階級の幅を縮めることで、数値ごとの人数の差が視覚的にわかりやすくなった。fig. 5から[長辺/短辺]比が1.48以上1.72未満と回答した人が多い傾向が掴めた。fig.3,4,5の最頻値より平均値と中央値が大きく、このことから特定の範囲に回答者が固まっていない、人数分布にバラつきがあるのではないかと予想した。さらに解析対象を絞り、fig. 6を作成した。そうすると、分布がU字型になっていることが分かった。しかし、fig. 6は全体データの約25%のデータであり、全体のデータの傾向をつかんでいるとは言い難い。なので私はfig. 5から[長辺/短辺]比が1.48以上1.72未満が美しいと感じる人が多い傾向にあると考えた。

単元設計⑫ 深い思考力を育む教科の学習(9)

感覚を**数値**という根拠を持って示す

数学

1.5

~

1.7

なぜ？

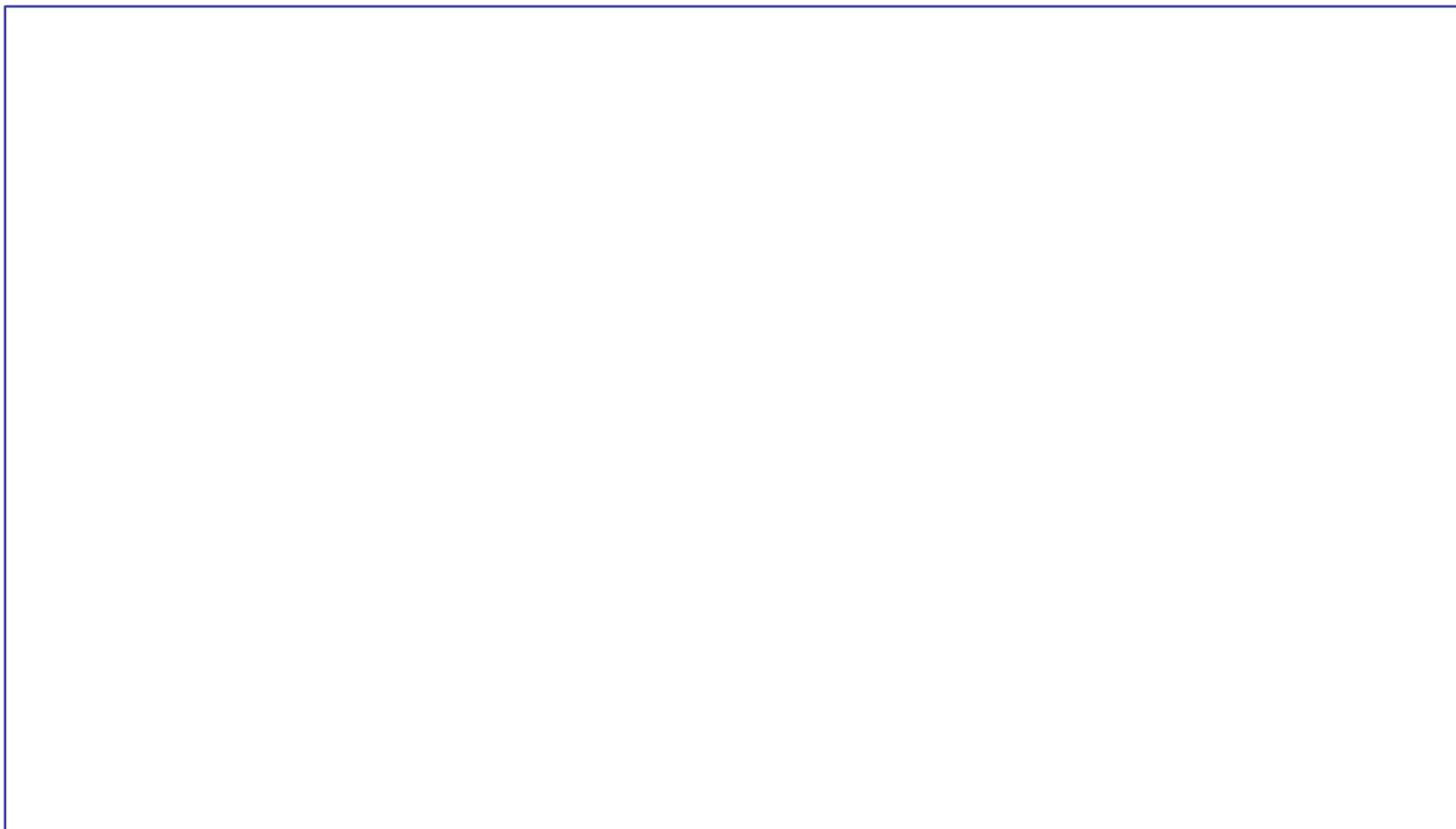
大阪教育大学附属池田中学校 井場 恒介先生の実践より

国立大学法人 大阪教育大学

単元設計⑬ 深い思考力を育む教科の学習(10)

正しく数値化するための学習→人数の違いをどうするか

数学



単元設計⑭ 深い思考力を育む教科の学習(11)

数学

データの処理 なぜを追求

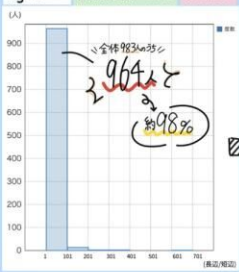
中学1年
6月

パフォーマンス課題『人が美しいと思う長方形』

①外れ値の処理

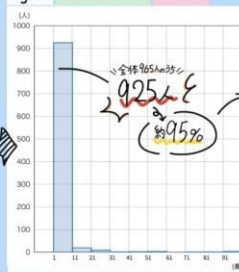
イ) 解析対象：全数値

fig. 1 階級の幅：100 n=983



ロ) 解析対象：1以上101未満

fig. 2 階級の幅：10 n=965



階級 (長辺/短辺)	度数 (人)
1,000 ~ 2,000	583
2,000 ~ 3,000	220
3,000 ~ 4,000	47
4,000 ~ 5,000	27
5,000 ~ 6,000	10
6,000 ~ 7,000	14
7,000 ~ 8,000	5
8,000 ~ 9,000	4
9,000 ~ 10,000	10
10,000 ~ 11,000	5

fig. 1より長辺/短辺が1以上101未満と回答した人が最も多かった。なので、対象を1以上101未満のfig. 2を作成した。fig. 2より比率が1以上11未満と回答した人が最も多かった。なので、その数値に注目した度数分布表table. 1を作成した。すると、1以上2未満に回答が固まっていることに気がついた。これより、1以上2未満を対象としてデータの傾向を考えた。

②データの傾向

イ) 解析対象：外れ値を除いた583人(長辺/短辺比が1以上2未満の回答者)

fig. 3 階級の幅：0.5 n=583

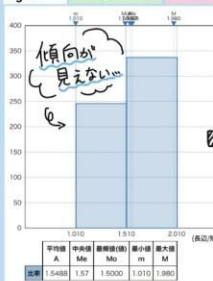


fig. 4 階級の幅：0.3 n=583

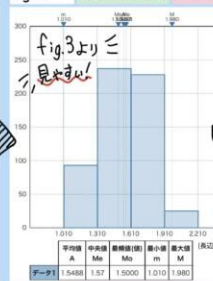
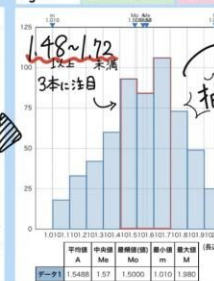


fig. 5 階級の幅：0.1 n=583



ロ) 解析対象：長辺/短辺比が1.48以上1.72未満

fig. 6 階級の幅：0.1 n=248

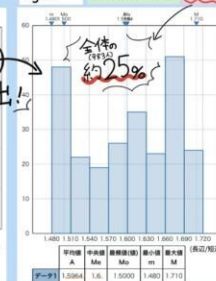


fig. 3, 4, 5のようにヒストグラムの階級の幅を縮めることで、数値ごとの人数の差が視覚的にわかりやすくなった。fig. 5から[長辺/短辺]比が1.48以上1.72未満と回答した人が多い傾向が掴めた。fig. 3, 4, 5の最頻値より平均値と中央値が大きく、このことから特定の範囲に回答者が固まっていない、人数分布にバラつきがあるのではないかと予想した。さらに解析対象を絞り、fig. 6を作成した。そうすると、分布がU字型になっていることが分かった。しかし、fig. 6は全体データの約25%のデータであり、全体のデータの傾向をつかんでいるとは言えない。なので私はfig. 5から[長辺/短辺]比が1.48以上1.72未満が美しいと感じる人が多い傾向にあると考えた。

③現実世界の長方形

著名なもの



身近なもの



【長辺/短辺】比が1.48以上1.72未満を美しいと感じる人が多い結果となったが、その範囲には首里城の守礼門やパルテノン神殿のように黄金比が含まれている。また、身近なコミックスやトランプのデザインの【長辺/短辺】比も含まれていることが分かった。自然物である落ち葉でもきれいな葉と感じた物の比はその範囲にあった。

④まとめ

○振り返り・発見

階級の幅や、解析対象のデータ数を変えると見え方も変わり、印象も変わることを学んだ。だが、きれいなグラフになればなるほど対象となるデータの数が少なくなっていく。本当に普遍的なデータなのだろうか。傾向を出すためにはある程度範囲を絞る必要があるが、どこまで絞ると良いのだろうか。難しいと感じた。ただ、今回私が出した範囲には黄金比が含まれていたため、大きく外れてはいないと思う。

凱旋門は約200年前に、守礼門は約500年前に作られた建造物である。この二つにも黄金比が用いられている。人が美しいと思う長方形の比率は時代を超えても同じなのではないだろうか。

○他にも解明できること

- ・遊園地のジェットコースターに乗るための待ち時間の限界の傾向
- ・UFOキャッチャーで一つの景品に使う金額の傾向
- ・忘れ物が多くなる月の傾向

大阪教育大学附属池田中学校 井場 恒介先生の実践より

国立大学法人 大阪教育大学

単元設計⑮ 深い思考力を育む教科の学習(12)

数学

レポートの相互評価
で指摘し合う

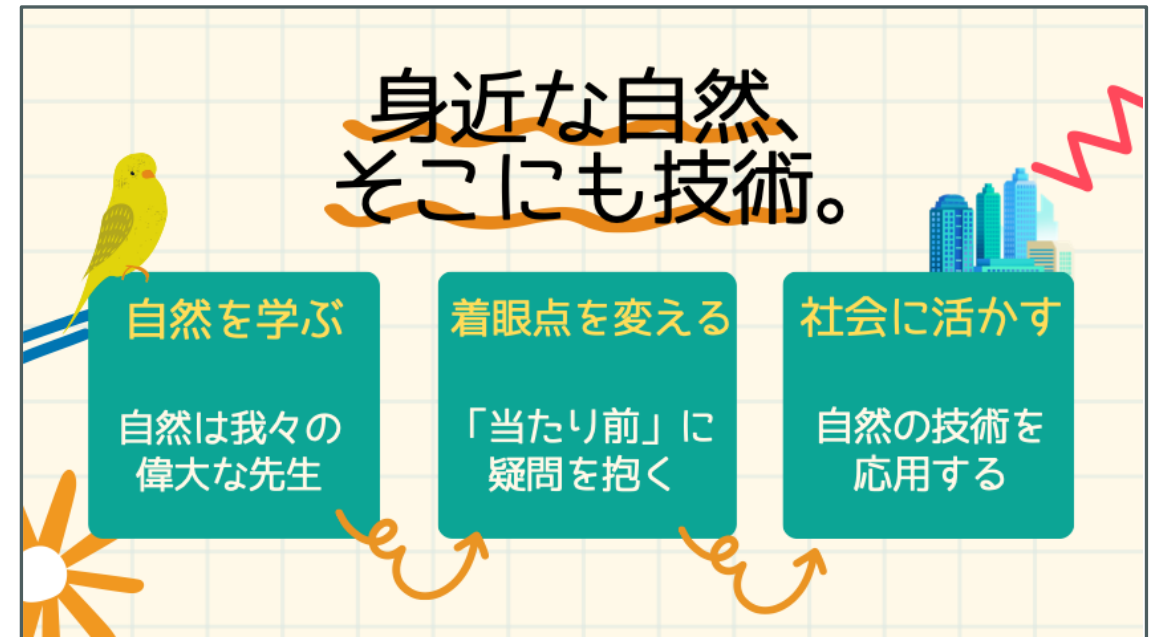
大阪教育大学附属池田中学校 井場 恒介先生の実践より

国立大学法人 大阪教育大学

単元設計①⑥ 深い思考力を育む教科の学習(13)

本の紹介 ～伝わる・伝えるとは～

国語

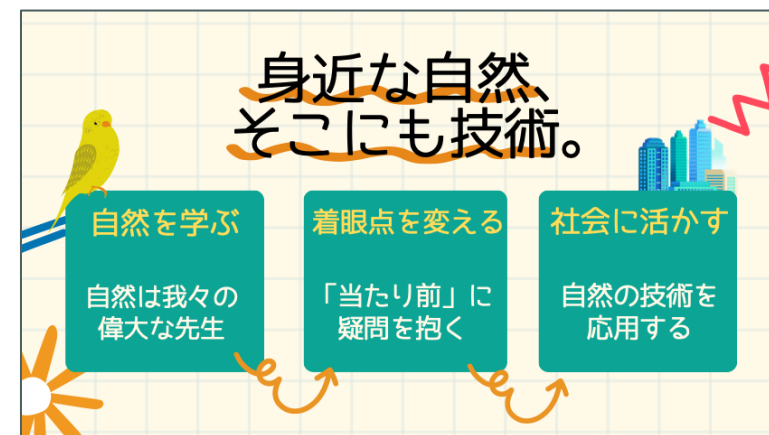
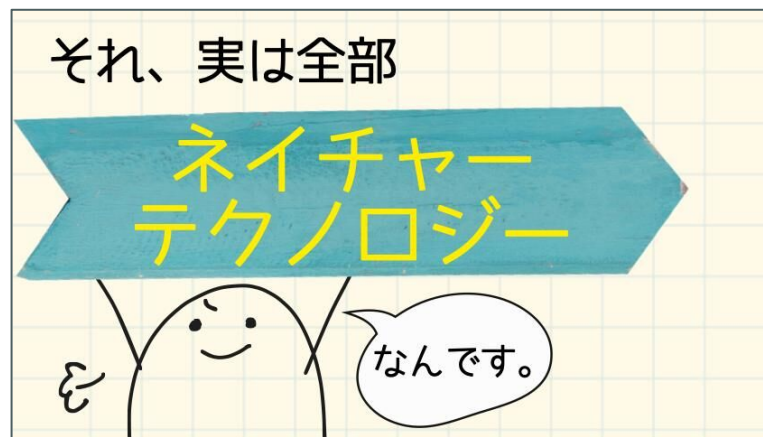
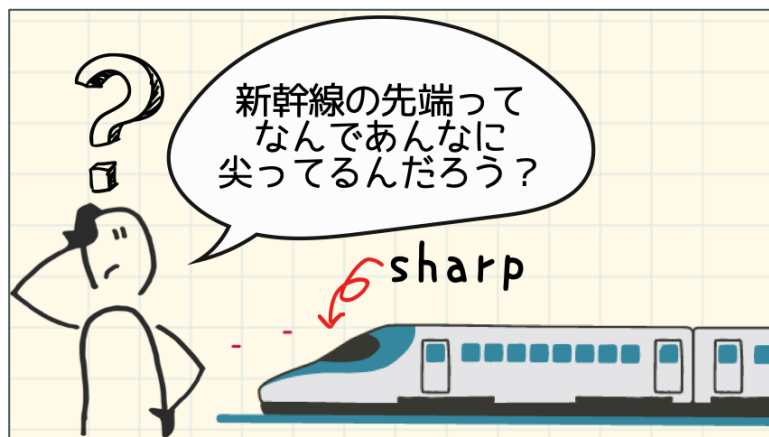


大阪教育大学附属池田中学校 西川 和貴先生の実践より

単元設計⑰ 深い思考力を育む教科の学習(14)

本の紹介 ～伝わる・伝えるとは～

国語



単元設計⑱ 深い思考力を育む教科の学習(15)

本の紹介 ～伝わる・伝えるとは～

国語

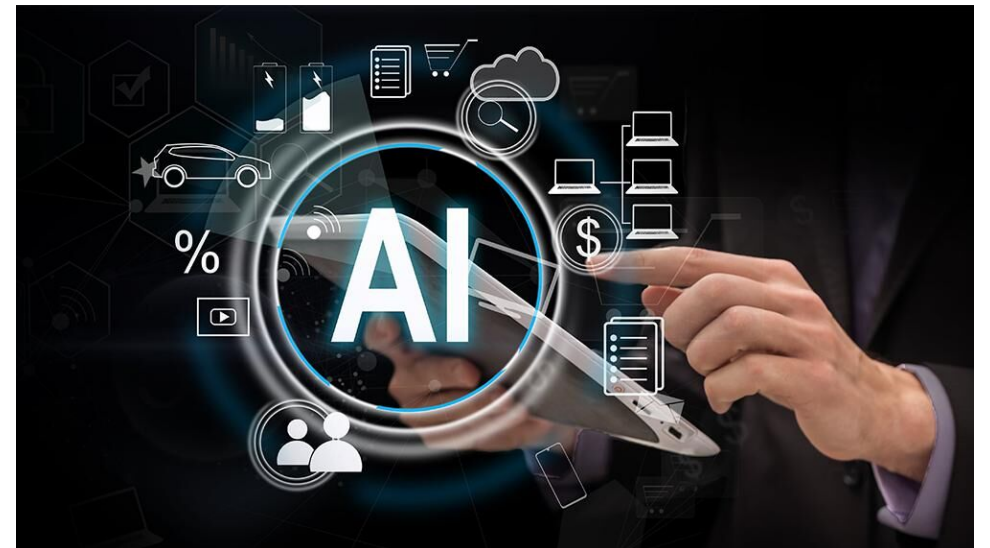
中学1年
6月

単元設計①⑨ 深い思考力を育む教科の学習(16)

生成AIとの対話～情報を鵜呑みにせず、自分で吟味～

英語

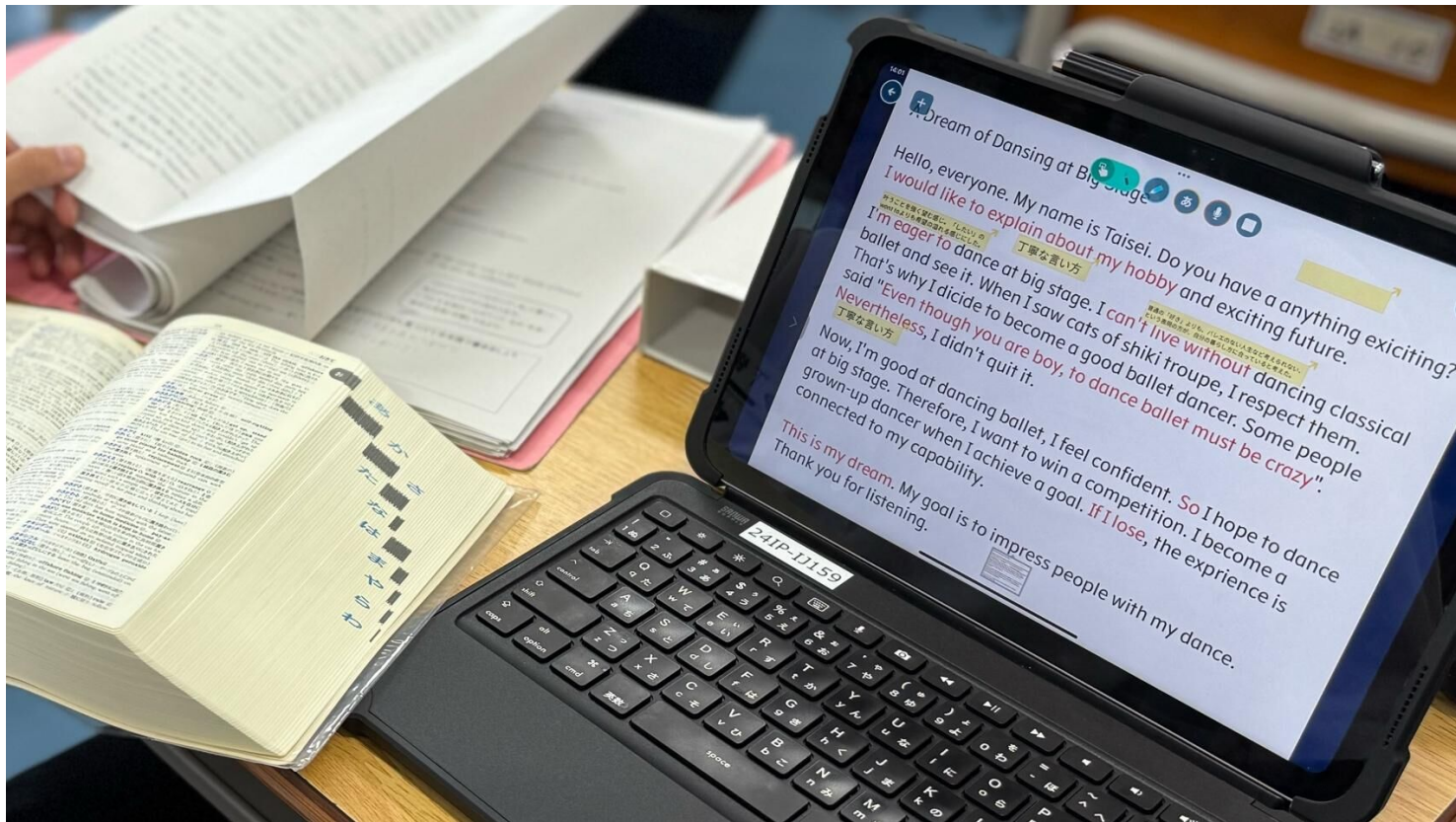
中学2年
6月



単元設計②⑩ 深い思考力を育む教科の学習(17)

生成AIとの対話～情報を鵜呑みにせず、自分で吟味～

英語



なぜ
その単語？
その文章？

単元設計②① 深い思考力を育む教科の学習(18)

テーマ：「選挙制度の課題」

- ① 「選挙に行かない理由って何？」 個人思考→交流→全体での共有
- ② 世代別の投票率（データ）提示「何が見とれるか，どの世代に課題を感じるか」
- ③ 「では，それを克服するための手立てや工夫は？」

社会

問い

対話（生徒，
教師間）

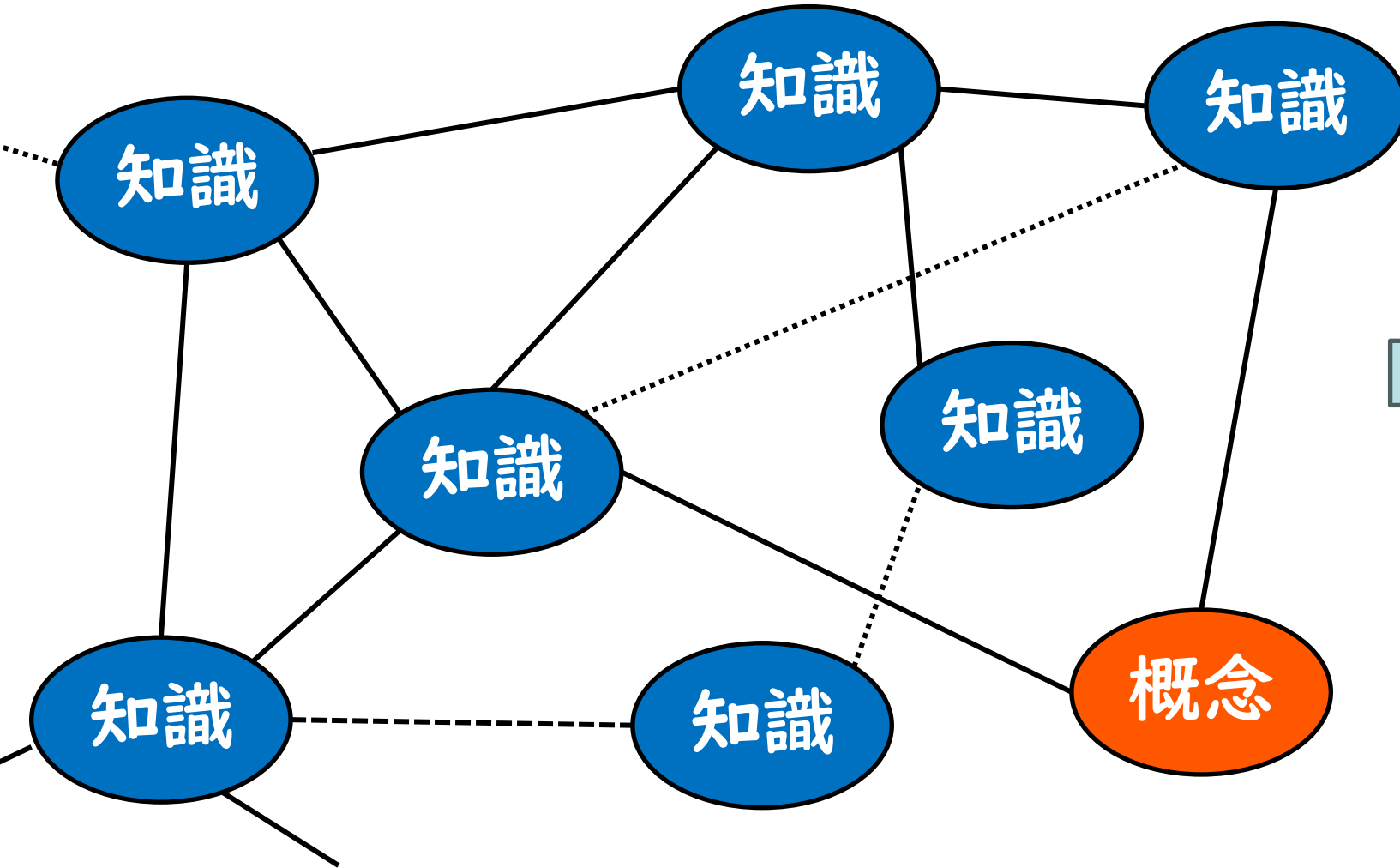
全体
シェア

データ
提示

対話
（生徒間）

「選挙制度（中3）」 島本町立第一中学校 森脇 俊介先生の実践より

持っている知識をつなぐ

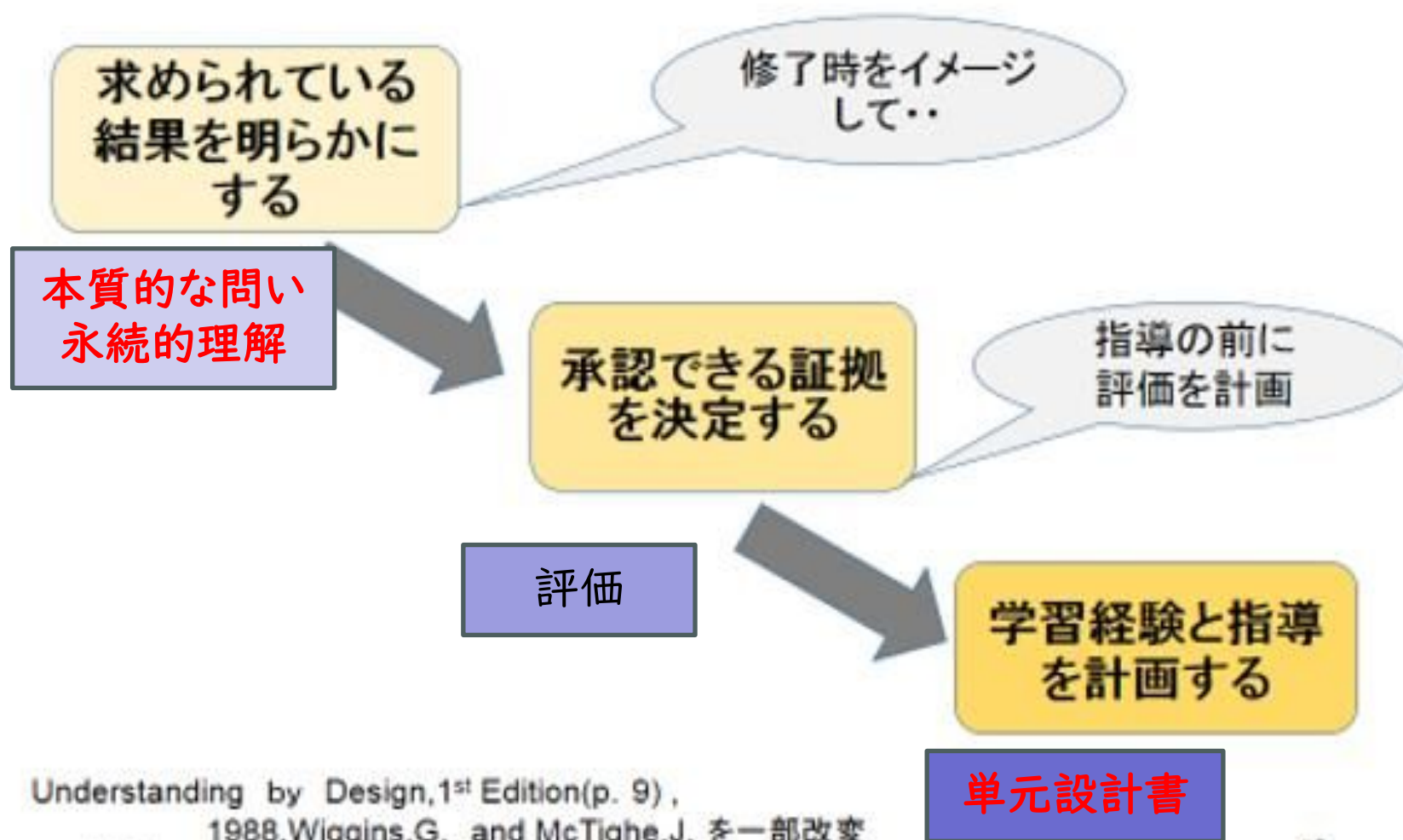


アウトプット



新たな
場面で活用
(知識の転移)

単元設計②③ 逆向き設計 (Backward Design)



①求められている結果
→ **本質的な問い**
永続的理解

②承認できる証拠
→ 評価

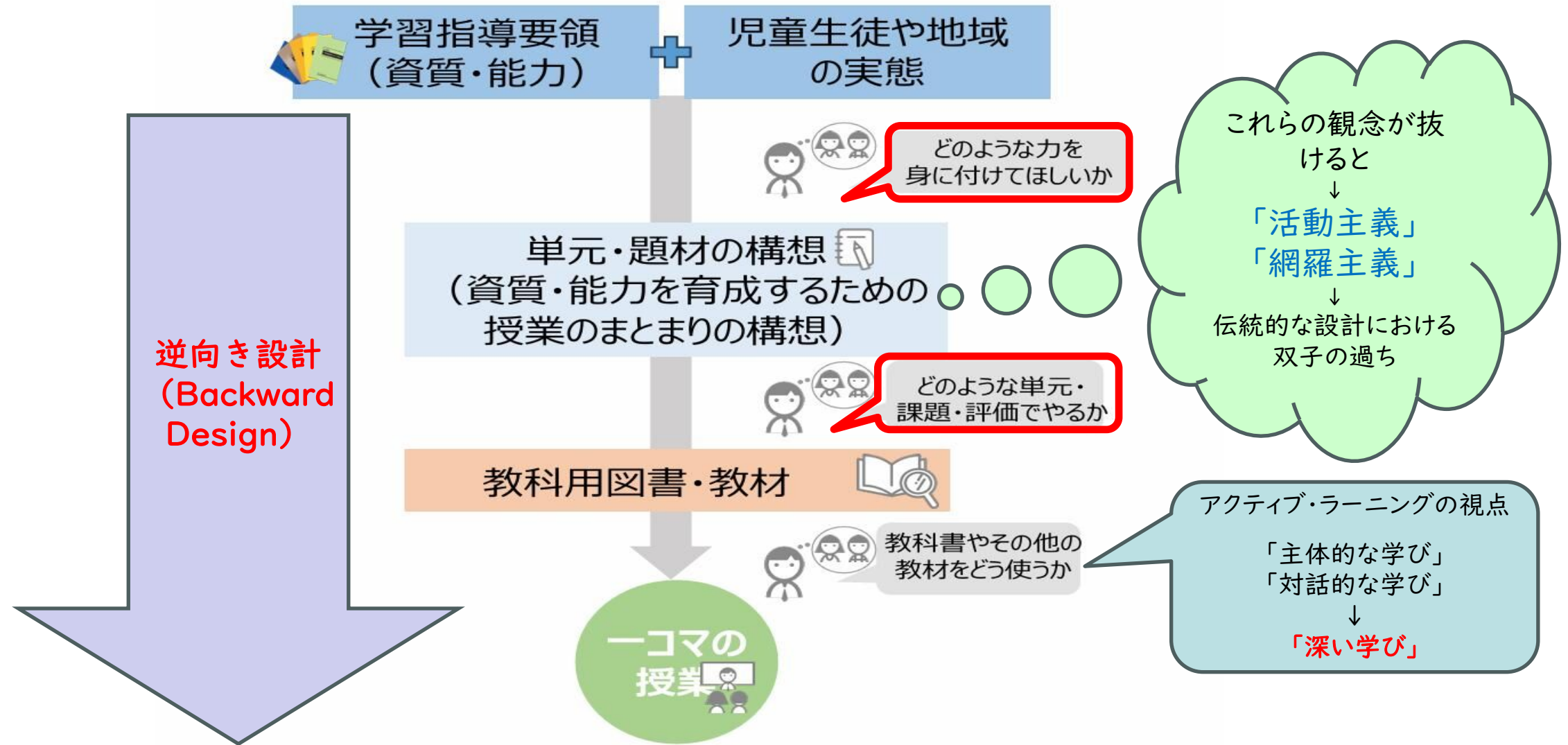
③学習経験と指導の計画
→ **単元設計書**

Understanding by Design, 1st Edition (p. 9),
1988, Wiggins, G. and McTighe, J. を一部改変

H30/9/11

10

単元設計②④ 資質・能力から出発する授業づくりのイメージ



学習指導要領の一層の構造化 (令和7年2月17日 教育課程企画特別部会)

単元設計②⑤ 見方・考え方(1)

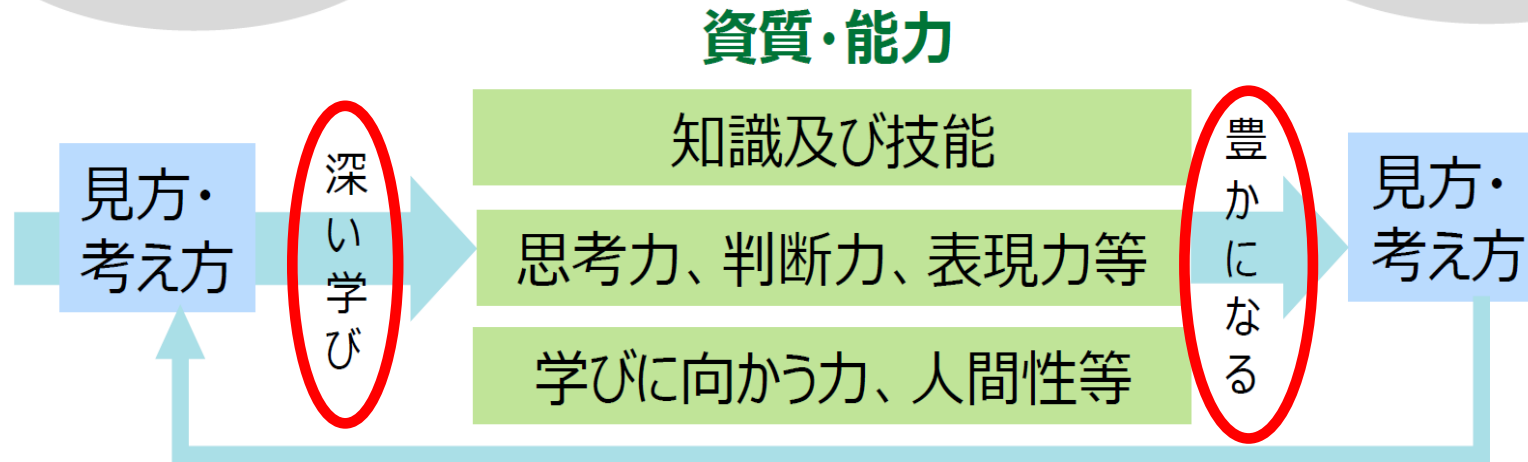
現在の「見方・考え方」と「資質・能力」の関係イメージ

側面①

教科等の学びの過程で
見方・考え方を働かせる
⇒各教科等の学びの深まり

側面②

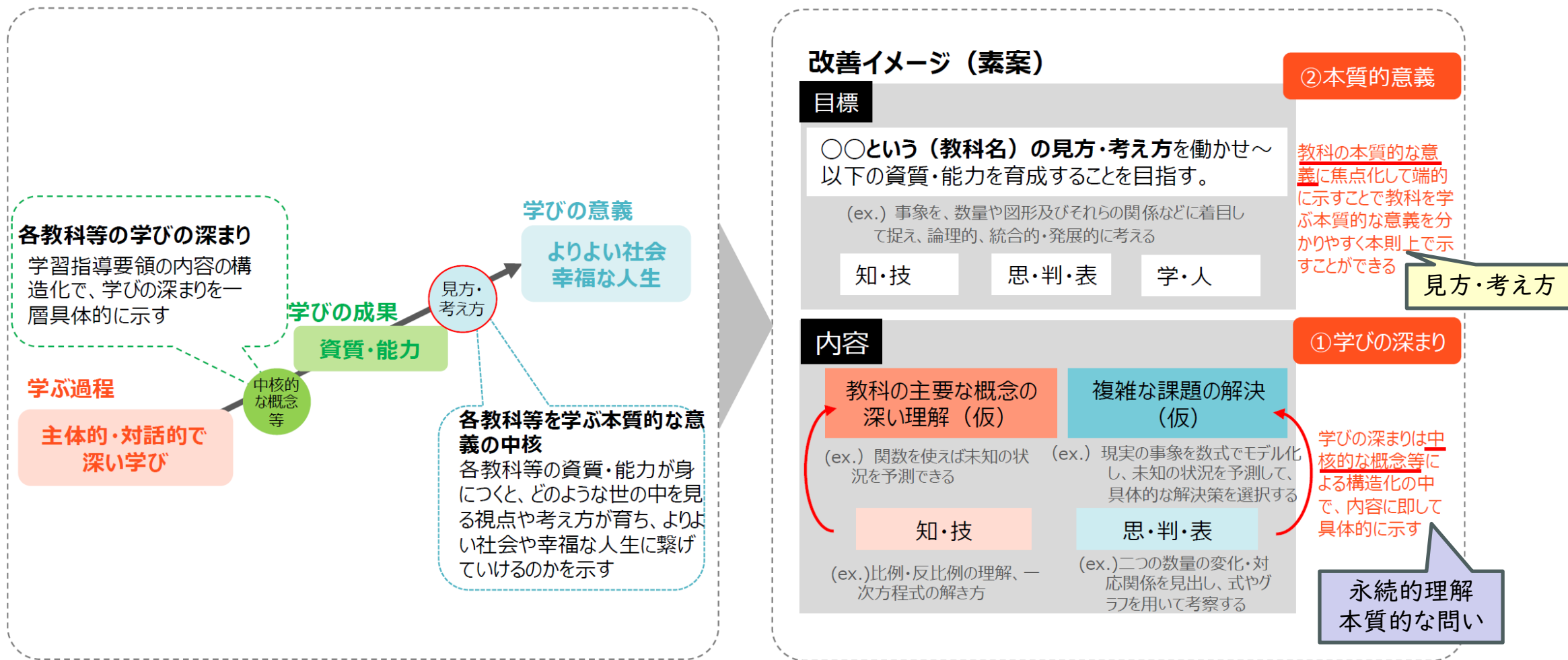
教科等の学びで鍛えられた見方・考え方
でよりよい社会や豊かな人生に繋げる
⇒各教科等を学ぶ本質的な意義の中核



「学習指導要領の構造化を進めるに当たっての諸論点」 R7.4.25 教育課程企画特別部会 資料 より

単元設計②⑥ 見方・考え方(2)

今後の見方・考え方の役割の改善イメージ



「学習指導要領の構造化を進めるに当たっての諸論点」 R7.4.25 教育課程企画特別部会 資料 より

単元設計②7 見方・考え方(3)

単元設計テンプレート（参考書式）

年度 所属 職名 名前						
小学校・中学校・高等学校 学年 教科(科目)名						
単 元 目 標	単元(題材)名: 2学期に実施予定の単元(題材)を選んでください。 「見方・考え方」 単元(題材)のとらえ方を、教科の「見方・考え方」に基づいて記入してください。					
	単元(題材)目標 学習指導要領に基づいて記入してください。					
	観点別評価規準 <table border="1"> <tr> <td>(知識・技能) 学習指導要領解説や「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料を参考に記入してください。</td> <td>(思考・判断・表現) 左に同じ</td> <td>(主体的に学習に取り組む態度) 左に同じ</td> </tr> </table>			(知識・技能) 学習指導要領解説や「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料を参考に記入してください。	(思考・判断・表現) 左に同じ	(主体的に学習に取り組む態度) 左に同じ
	(知識・技能) 学習指導要領解説や「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料を参考に記入してください。	(思考・判断・表現) 左に同じ	(主体的に学習に取り組む態度) 左に同じ			
<table border="1"> <tr> <td> 【重点目標】 「本質的な問い」※今回は単元の「本質的な問い」 生徒を永続的理解に導く、単元を貫く問いを設定する。 ●どのような刺激的な問いが、探究、理解、学習の転移を促進するのか？ </td> <td> 【知識・スキル】 この単元で習得する必要がある事実的知識や個別的スキルを箇条書きで記入してください。 </td> </tr> <tr> <td> 「永続的理解」 「永続的理解」を言語化する。 生徒は、～は…だと理解する。 ●重大な概念は何か？ ●それらについて、どのような特定の理解が求められているのか？ ●どのような誤解が予想されるのか？ </td> <td></td> </tr> </table>			【重点目標】 「本質的な問い」※今回は単元の「本質的な問い」 生徒を永続的理解に導く、単元を貫く問いを設定する。 ●どのような刺激的な問いが、探究、理解、学習の転移を促進するのか？	【知識・スキル】 この単元で習得する必要がある事実的知識や個別的スキルを箇条書きで記入してください。	「永続的理解」 「永続的理解」を言語化する。 生徒は、～は…だと理解する。 ●重大な概念は何か？ ●それらについて、どのような特定の理解が求められているのか？ ●どのような誤解が予想されるのか？	
【重点目標】 「本質的な問い」※今回は単元の「本質的な問い」 生徒を永続的理解に導く、単元を貫く問いを設定する。 ●どのような刺激的な問いが、探究、理解、学習の転移を促進するのか？	【知識・スキル】 この単元で習得する必要がある事実的知識や個別的スキルを箇条書きで記入してください。					
「永続的理解」 「永続的理解」を言語化する。 生徒は、～は…だと理解する。 ●重大な概念は何か？ ●それらについて、どのような特定の理解が求められているのか？ ●どのような誤解が予想されるのか？						
3 評 価 方 法	【パフォーマンス課題】		【その他の評価方法】			
	【ルーブリック】		【チェックリスト】			
4 評 価 基 準						

※このテンプレートは、京都大学大学院教育学研究科 E.FORUM にて開発されたものである。
奥村好美・西岡加名恵編著『「逆向き設計」実践ガイドブック』日本標準、2020年、巻末資料①を一部改編。

「単元設計書」と総括的評価課題(パフォーマンス課題)の作り方

- ① 単元を選ぶ(適切なサイズの単元を設定する)。
- ② 教科の「見方・考え方」に着目して単元を捉える。
- ③ 単元目標と単元全体の評価規準を設定する(学習指導要領解説や「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料を参考)。
- ④ 単元の中核に位置する重点目標に見当をつけつつ、取り組む課題のイメージを持つ。
- ⑤ 「本質的な問い(単元を貫く問い)」を明確にする。
- ⑥ その問いに対してどのようなレベルの答えに達してほしい(「原理や一般化」についての「永続的理解」)を明文化+ルーブリックの作成
- ⑦ 総括的評価課題(パフォーマンス課題)のシナリオをつくる。

単元計画書テンプレート(奥村好美・西岡加名恵『「逆向き設計」実践ガイドブック』日本標準、2020年を参照)

単元設計②⑧ 見方・考え方(4)

島本一中(令和7年7月24日 校内研修ワークショップより 一部抜粋)

教科・学年	単元	見方・考え方
英語・第3学年	AI Technology and Language	外国語でコミュニケーションを図るために、外国語やその背景にある文化を社会や世界、他者との関わりの中で捉え、目的・場面・状況等に応じて、情報や自分の考えなどを形成、整理、再構築する。
社会・第2学年	江戸時代の幕府政治の動き	江戸時代の内政に目を向け、江戸幕府の諸改革について理解し、幕府の政策が農村の変化や商業の発達などの社会に及ぼした影響について考察する。改革を経済の視点や福祉の視点から多角的に分析することで、それぞれの改革が社会に及ぼした影響を理解する。
技術・第1学年	等角図を描いてみよう！	等角図は部品や構造を的確に伝える手段。道具や装置を組み立てる時の考え方に直結し、立体構造を把握することで、実際の組立順や必要な部品などを論理的に予測できる。また、機能や耐久性など現実的な条件も踏まえた視点で図を活用する。
理科・第3学年	新しいものについて探究する	自然環境や科学技術と人間とのかかわりについてを、日常生活や社会と関連づけながら、持続可能な開発目標の達成に向けて、自分の意見を科学的・論理的に説明することができ、持続可能な開発目標の達成に向けて自分の考えを広げ深める。

単元設計②9 本質的な問いと永続的理解(1)

単元設計テンプレート（参考書式）

年度	所属	職名	名前
小学校・中学校・高等学校 学年 教科(科目)名			
単元名	単元(題材)名: 2学期に実践予定の単元(題材)を選んでください。 「見方・考え方」 単元(題材)のとらえ方を、教科の「見方・考え方」に基づいて記入してください。		
	単元(題材)目標 学習指導要領に基づいて記入してください。		
単元目標	求められている結果を明らかにする 修了時をイメージして... (組む態度)		
	資料を参考に記入してください。		
単元目標	【重点目標】 「本質的な問い」※今回は単元の「本質的な問い」 生徒を永続的理解に導く、単元を貫く問いを設定する。 ●どのような刺激的な問いが、探究、理解、学習の転移を促進するのか?		
	【知識・スキル】 この単元で習得する必要がある事実的知識や個別的スキルを箇条書きで記入してください。		
評価方法	「永続的理解」 「永続的理解」を言語化する。 生徒は、～は・・・だと理解する。 ●重大な概念は何か? ●それらについて、どのような特定の理解が求められているのか? ●どのような誤解が予想されるのか?		
	【パフォーマンス課題】 【その他の評価方法】		
評価基準	【ループリック】 【チェックリスト】		

※このテンプレートは、京都大学大学院教育学研究科 E.FORUM にて開発されたものである。
 奥村好美・西岡加奈恵編著『「逆向き設計」実践ガイドブック』日本標準、2020年、巻末資料①を一部改編。

「単元設計書」と総括的評価課題(パフォーマンス課題)の作り方

1. 「永続的理解」を言語化する。

生徒は、～は・・・だと理解する。

- 重大な概念は何か?
- それらについて、どのような特定の理解が求められているのか?
- どのような誤解が予想されるのか?

④ 単元の中核に位置する重点目標に見当をつけつつ、取り組む課題のイメージを持つ。

⑤ 「本質的な問い(単元を貫く問い)」を明確にする。

⑥ その問いに対してどのようなレベルの答えに 達してほしい
 (「原理や一般化」についての「永続的理解」)を明文化+ル

2. 「本質的な問い」

生徒を永続的理解に導く、単元を貫く問い

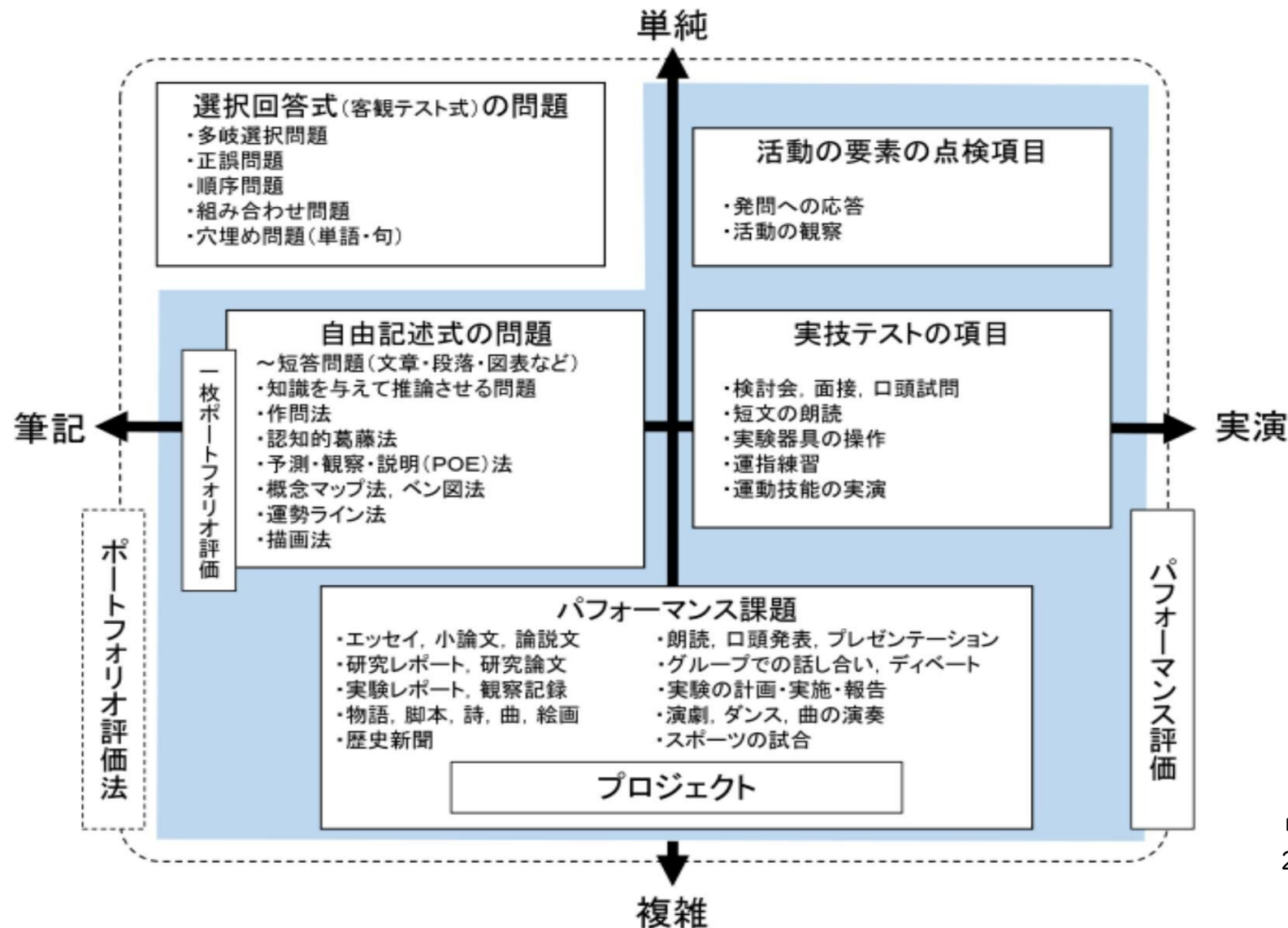
- どのような刺激的な問いが、探究、理解、学習の転移を促進するのか?

単元設計③⑩ 本質的な問いと永続的理解(2)

島本一中(令和7年7月24日 校内研修ワークショップより 一部抜粋)

教科・学年	単元	本質的な問い	永続的理解
英語・第3学年	AI Technology and Language	なぜ関係代名詞thatは主語が人でもものでもいけるのか？	関係代名詞which/who/thatの使うそれぞれのルールを知り、文を使い分けることができる。
社会・第2学年	江戸時代の幕府政治の動き	財政問題を克服する時には、どのような政策が必要か？	経済や福祉のあり方は政治によって左右され、それによって私たちの生活も左右される。
国語・第2学年	敬語	なぜ人は敬語を使うのか？	敬語を使うことは、相手を尊重しながら円滑なコミュニケーションをとることに役立つ。
数学・第1学年		なぜ文字を使うのか？	文字は、数量の関係を一般的に表すことができる。数の代わりに文字を用いることで、「すべての場合」に共通するルールを表現することができる。さらに現実の問題を数式に翻訳した表現である。

単元設計③① パフォーマンス課題とルーブリック(1)



「パフォーマンス課題」とは、**知識やスキルを総合して使いこなす(活用・応用・総合する)**ことを求められるような課題で、**実演(プレゼンテーション, ディベート, 演技, 演奏など)**と**作品の制作(レポート, 論文, ポスターなど)**である。

→ひとまとまりのパフォーマンス課題によって、高次の能力を可視化させ、直接的に評価する。

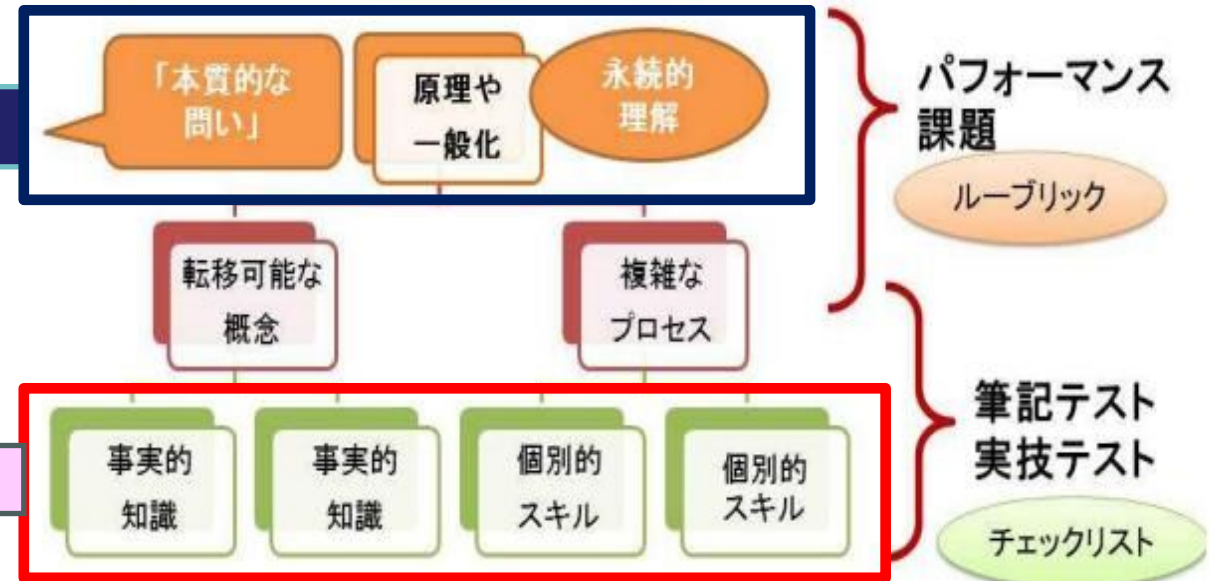
「資質・能力」を育てるパフォーマンス評価, 西岡加名恵, 2016 より

単元設計③② パフォーマンス課題とルーブリック(2)

単元設計テンプレート（参考書式）

年度 所属 職名 名前			
小学校・中学校・高等学校 学年 教科（科目）名			
単元名	単元（題材）名： 2学期に実践予定の単元（題材）を選んでください。 「見方・考え方」 単元（題材）のとらえ方を、教科の「見方・考え方」に基づいて記入してください。		
	単元（題材）目標 学習指導要領		
単元目標	（知識・技能） 学習指導要領解説「 体化」のための資料を参考に記	評価の一 する参考 。	左に同じ
	【重点目標】 「本質的な問い」 生徒を永続的理 ●どのような刺	元の「本質的な問い」 元を貫く問いを設定する。 探究、理解、学習の転移を促進するのか？	【知識・スキル】 この単元で習得する必要がある事実的 知識や個別的スキルを箇条書きで記入 してください。
	「永続的理解」 「永続的理解」を 生徒は、～ ●重大な概念は ●それらについて ●どのような話	する。 特定の理解が求められているのか？ るのか？	
	【パフォーマンス】	【その他の評価方法】	
評価方法			
評価基準	【ルーブリック】	【チェックリスト】	

「単元設計書」と総括的評価課題（パフォーマンス課題）の作り方



（McTighe, J. & Wiggins, G., *Understanding by Design: Professional Development Workbook*, ASCD, 2004, p.65の図や、Erickson, H.L., *Stirring the Head, Heart, and Soul*, 3rd Ed. Corwin Press, 2008, p.31の図をもとに西岡作成。G・ウィギンズ/J・マクタイ、西岡加名恵訳『理解をもたらすカリキュラム設計——「逆向き設計」の理論と方法』日本標準、2012年も参照）

*このテンプレートは、京都大学大学院教育学研究科 E.FORUM にて開発されたものである。
奥村好美・西岡加名恵編著『「逆向き設計」実践ガイドブック』日本標準、2020年、巻末資料①を一部改編。

単元設計③ パフォーマンス課題とルーブリック(3)

オススのプランを紹介しよう

携帯会社「シマバンク」が困っています。
6人のお客様に、4つのプランからオススのプランを考え紹介しましょう。

4つのプラン

- 使った分だけプラン
基本料金 0 円
通話料 1 分につき 8 円
- かけ放題プラン
どれだけ使っても 6000 円
- キャッシュバックプラン
基本料金 1000 円
通話料 1 分につき 6 円
※ただし 3000 円を超えると基本料金は返金
- 家族割プラン
基本料金 1500 円
通話料 1 分につき 10 円
※同居していて家族割プランに入っている人が自分以外にいる場合、自分以外の人数につき 10%引き
※1人での加入も OK

6人のお客様

Aさん 難易度★
68歳 日々の楽しみは孫と毎日 10 分電話をすること

Bさん 難易度★
18歳 初めて自分で携帯を契約
週5日で友だちと 1 時間電話をしている

Cさん 難易度★★
70歳 3世帯で暮らしている
子ども2人と孫3人も同じプランにする予定
町内会の人たちと週に 1 日 1 時間 15 分の電話をしている
月にいくらかかるのか説明をお願いしたいとのこと

Dさん 難易度★★★
19歳 一人暮らし大学生
絶対ホームシック中 平日 5 日間毎日 20 分実家に電話している

Eさん 難易度★★★★
35歳 海外出張中
土曜と日曜に日本にいる子どもと夜に 2 時間電話をしている

Fさん 難易度★★★★
48歳 妻も娘も同じプランにする予定。
仕事で電話を毎日 20 分使っている
家族で入るから家族割プランにした方がいいか相談をしている

⑥プランを考えるときの統一ルール

- ①1 か月は 28 日とする。(月曜日から日曜日までの 7 日間×4 週)
- ②必ず他のプランと比べて紹介すること。
- ③数学を使うこと。(計算したりグラフを用いたりした場合は説明をどうやって用いたか説明しよう)
- ④注意点まで言おう。(これだけ使わないと損をするや使いすぎると違うプランがオススメするなど)
- ⑤スライドを作ろう。(10 分で発表ができるように)
説明だけでなく、見てわかるようにしてあげよう。
スライドの内容
(1) タイトル
(2) お客様情報
(3) 各プランとの比較
(4) プラン使用時の注意点
(5) 結論
⑥発表時は全員が話せるように分担しよう。

⑦評価基準

	A	B	C
思考・判断・表現	式やグラフ、表を用いてオススのプランを複数用いて、数学的な視点からお客さんに紹介することができている。	式やグラフ、表を用いてオススのプランを数学的な視点からお客さんに紹介することができている。	オススのプランの紹介ができていない。
主体的に学習に向かう姿勢	班の生徒と協力してプランを考え、分かりやすいスライド作成を行い、発表に参加している。	プランを考えスライド作成を行い発表に参加している。	班活動に参加していない。

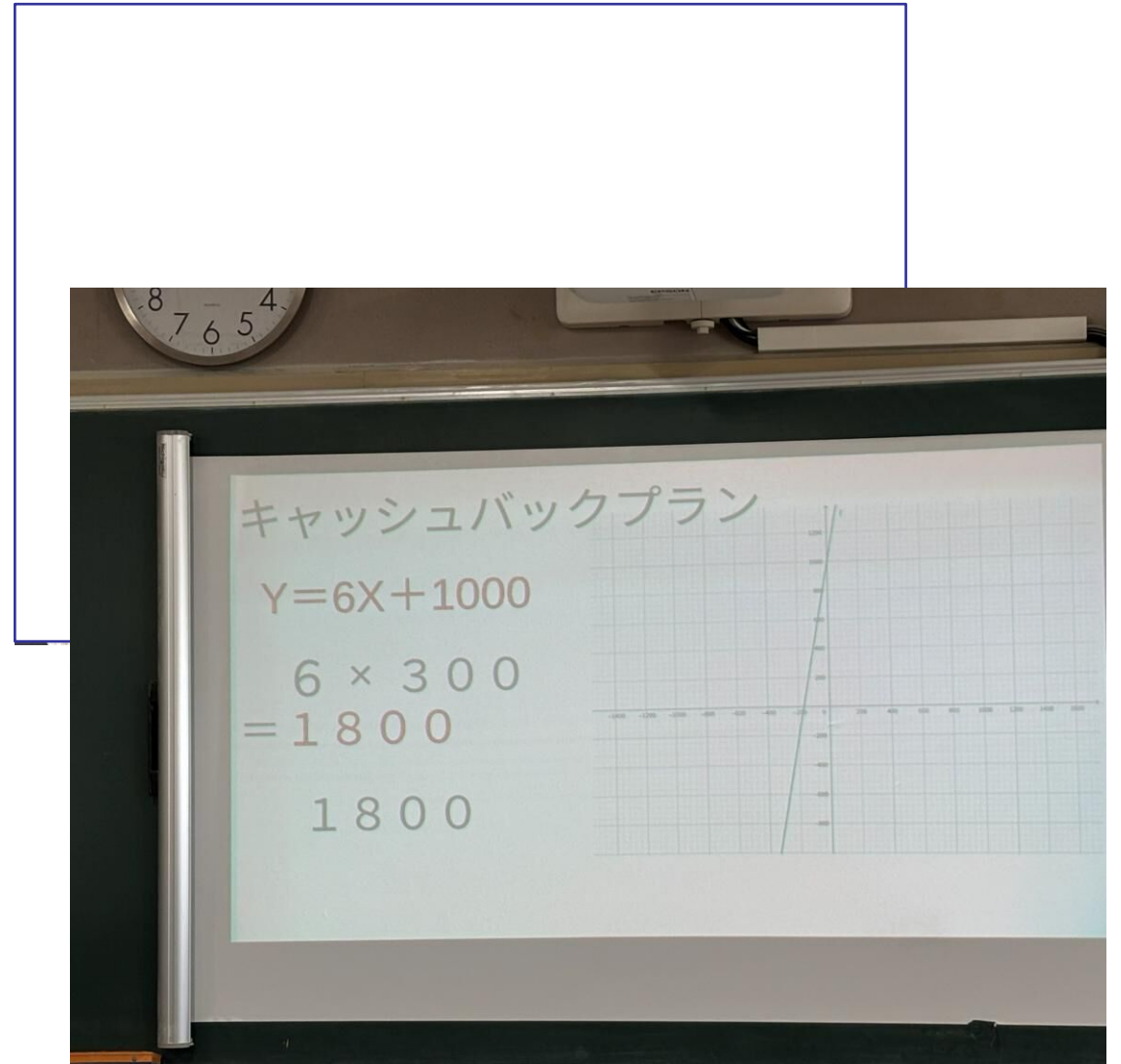
⑧今後の予定

- ①課題把握・お客様の情報整理
- ②各プランと比較しよう (1)
- ③各プランと比較しよう (2)
- ④プラン使用時の注意点を考えよう
- ⑤スライド作成 (1)
- ⑥スライド作成 (2)
- ⑦中間発表
- ⑧修正・練習
- ⑨本番

早く進む班はどんどん次に進んでよし！
早く進むほどスライドを作る時間が長くなる！
全ての班が早く進んでいたら予定を繰り上げる場合もあります！（繰り上げていきたい！）

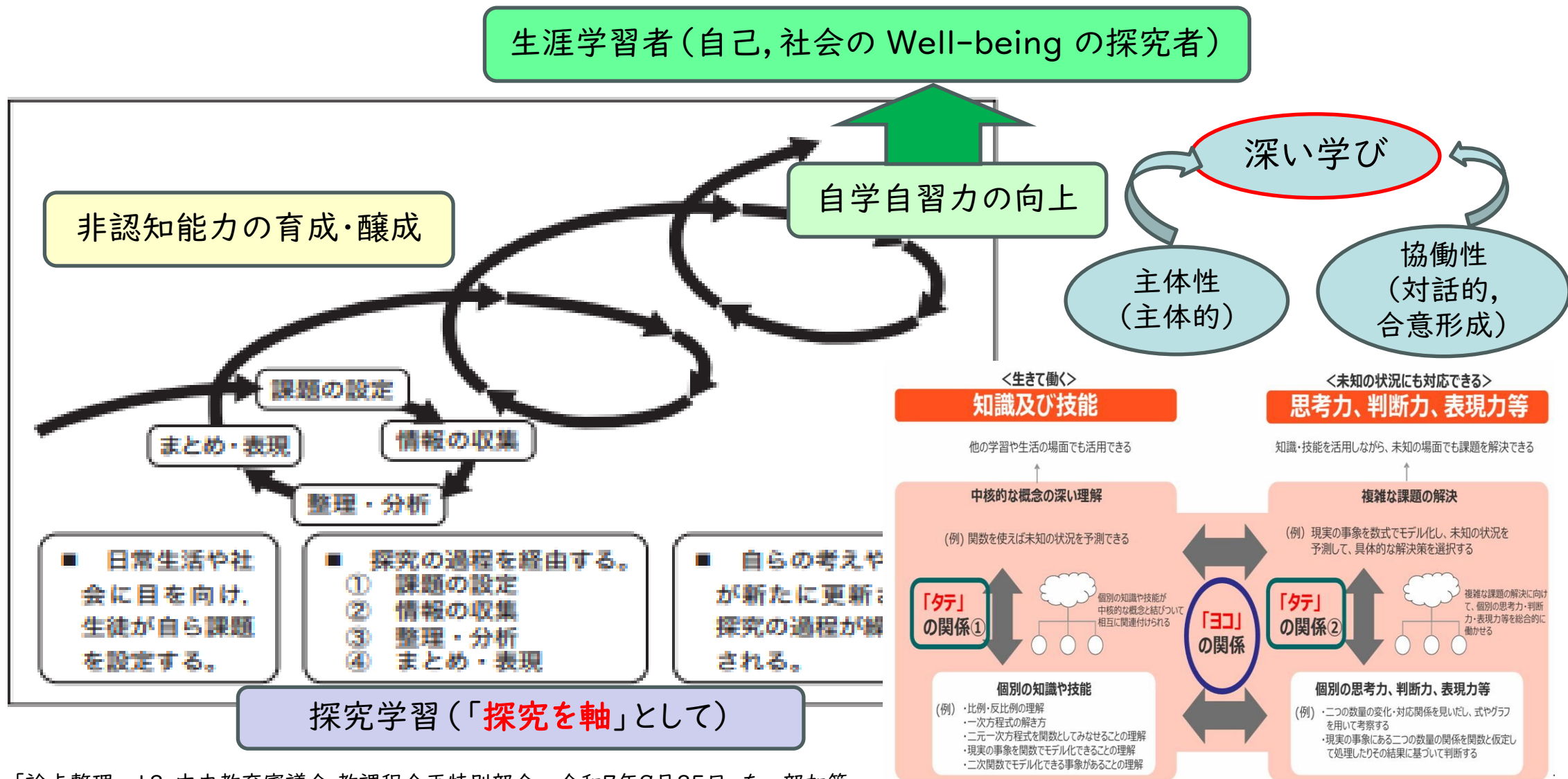
「オススのプランを紹介しよう(島本町立第一中学校 宮田 勇進先生の実践)より」

単元設計③④ パフォーマンス課題とルーブリック(4)



「オススメのプランを紹介しよう(島本町立第一中学校 宮田 勇進先生の実践)より」

「探究学習」及び「非認知能力」と「自学自習力」の構造

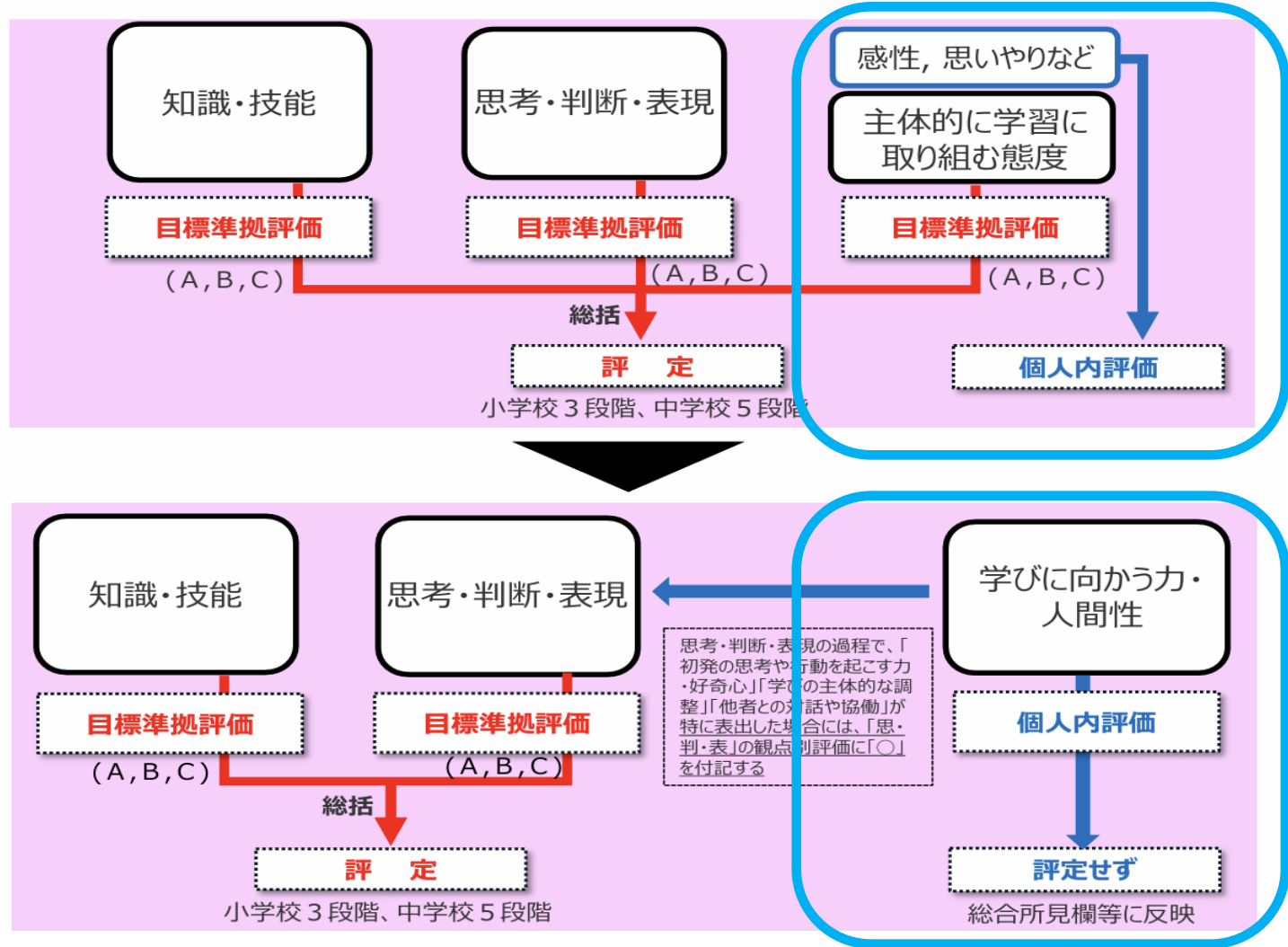
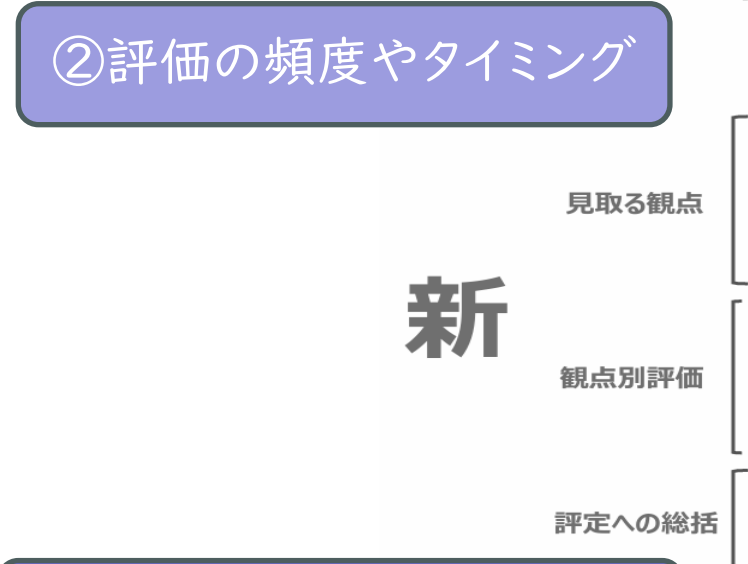
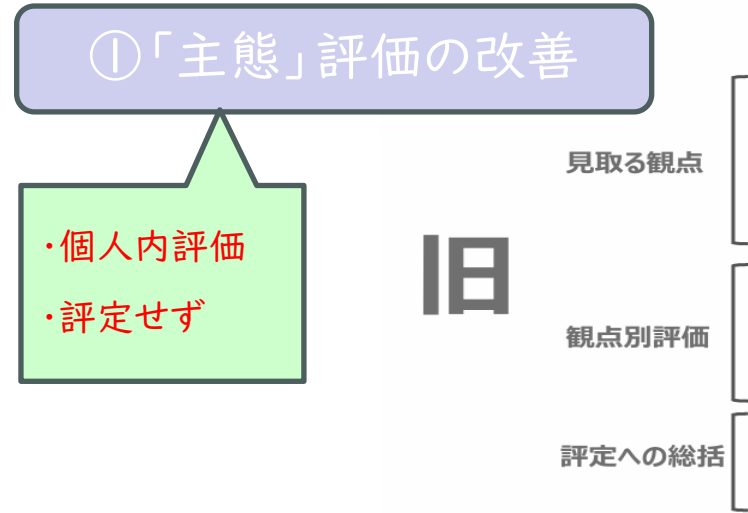


「論点整理 p12 中央教育審議会 教課程企画特別部会, 令和7年9月25日」を一部加筆

学習評価の考え方と非認知能力の見取り

評価① 新たな観点別のイメージ(1)

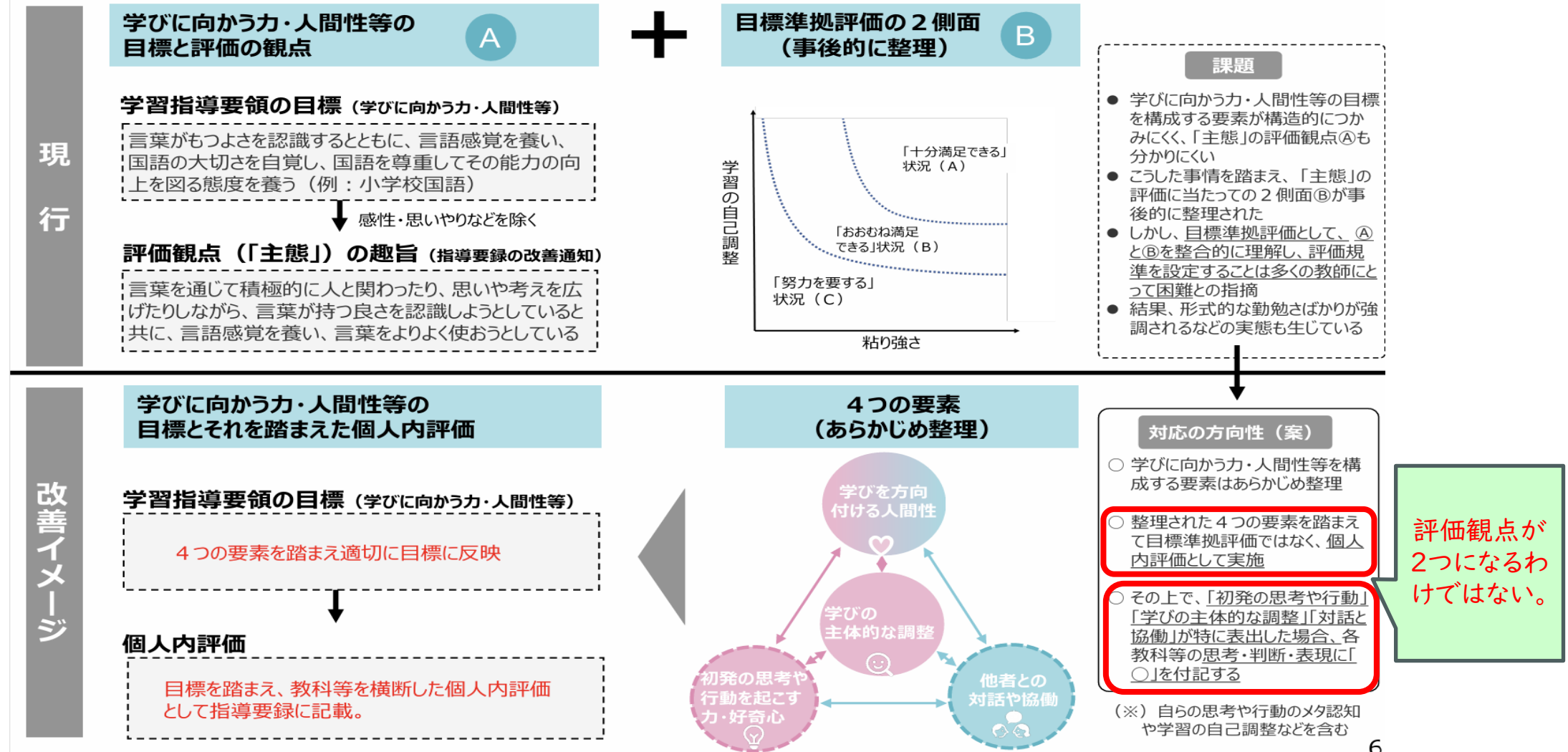
新たな観点別評価（イメージ）



「豊かな学びに繋がる学習評価の在り方（令和7年7月4日 教育課程企画特別部会）」より

評価② 新たな観点別のイメージ(2) (学びに向かう力・人間性等)

「主体的に学習に取り組む態度」の評価の改善イメージ



「豊かな学びに繋がる学習評価の在り方 (令和7年7月4日 教育課程企画特別部会)」より

評価③ 評価の頻度

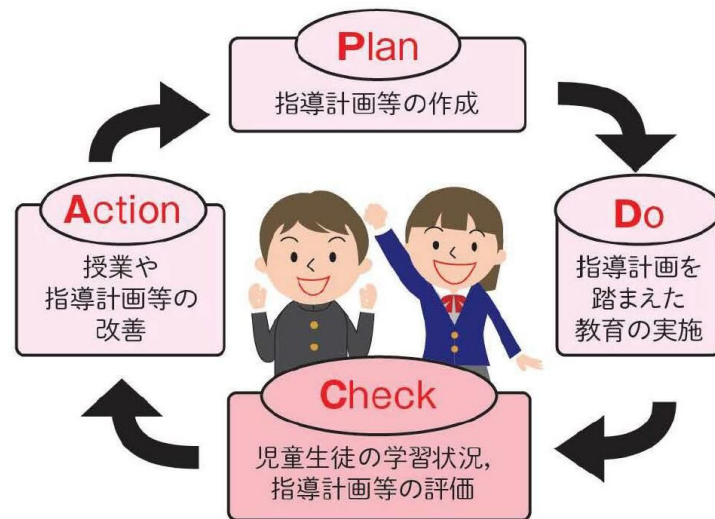
Q1 1回の授業で、3つの観点全てを評価しなければならないのですか。

A. 学習評価については、日々の授業の中で児童生徒の学習状況を適宜把握して指導の改善に生かすことに重点を置くことが重要です。したがって観点別学習状況の評価の記録に用いる評価については、毎回の授業ではなく原則として単元や題材などの内容や時間のまとまりごとに、それぞれの実現状況を把握できる段階で行うなど、その場面を精選することが重要です。

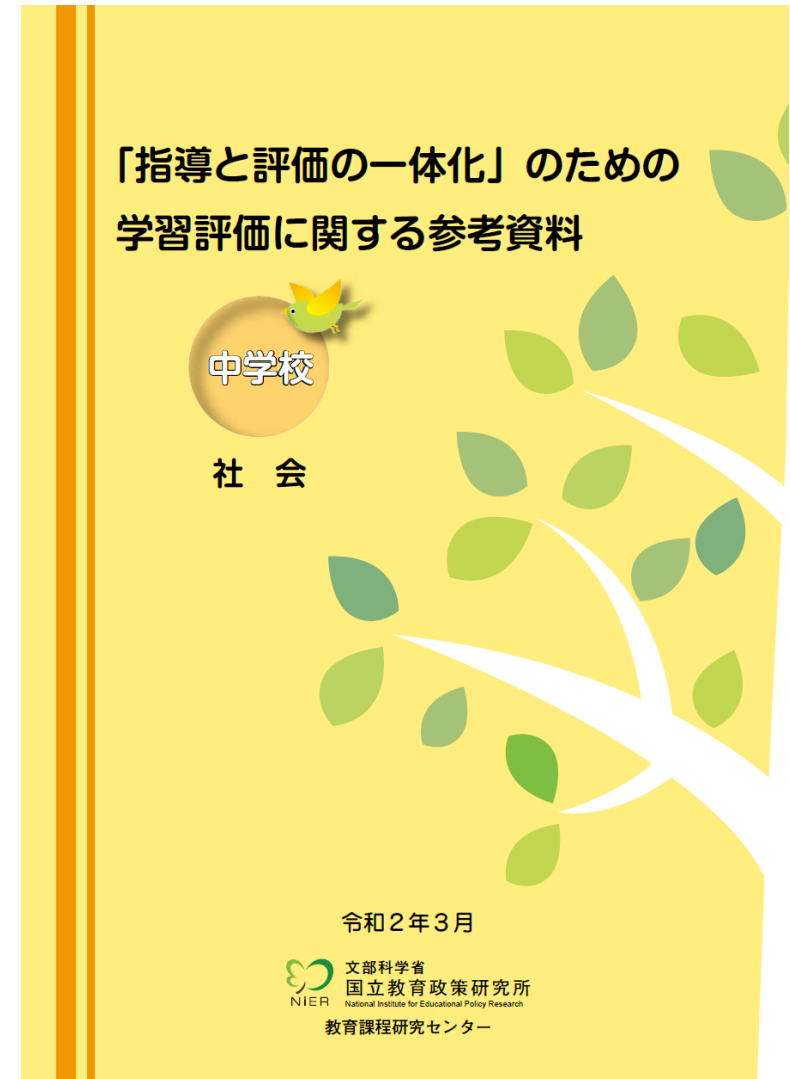
カリキュラム・マネジメントの一環としての指導と評価

各学校は、日々の授業の下で児童生徒の学習状況を評価し、その結果を児童生徒の学習や教師による指導の改善や学校全体としての教育課程の改善、校務分掌を含めた組織運営等の改善に生かす中で、学校全体として組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図っています。

このように、「学習指導」と「学習評価」は学校の教育活動の根幹であり、教育課程に基づいて組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図る「カリキュラム・マネジメント」の中核的な役割を担っています。



「学習評価の在り方ハンドブック」より



評価④ 評価計画(1)

教科:国語(中学校2年生)

単元:言葉の架け橋 ～“訳”の挑戦を探究する～

単元目標

- ・知識及び技能に関して
 - ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむ。(3)ア
 - ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方について知ることができる。(3)イ
- ・思考力, 判断力, 表現力等に関して
 - ・読み手の立場に立って, 表現の効果などを確かめて, 文章を整えることができる。B(1)エ
 - ・観点を明確にして文章を比較するなどし, 文章の構成や論理の展開, 表現の効果について考えることができる。C(1)エ
 - ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け, 自分の考えを広げたり深めたりすることができる。C(1)オ
- ・学びに向かう力, 人間性等に関して
 - ・言葉がもつ価値を認識するとともに, 我が国の言語文化を大切にして, 思いや考えを伝え合おうとする。

評価⑤ 評価計画(2)

4.評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア</p> <p>・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方について知っている。(3)イ</p>	<p>・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。B(1)エ</p> <p>・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。C(1)エ</p> <p>・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ</p>	<p>・古典に表れたものの見方や考え方を積極的に知ろうとし、学習の見通しをもって現代語の言語感覚とつなぎ合わせ、我が国の言語文化への理解を深めようとしている。</p>

大阪教育大学附属池田中学校 国語科 永井涼子先生の実践より

評価⑥ 評価計画(3)

5. 単元の指導計画(全25時間)

時間	学習内容	主な評価規準	評価の観点			評価方法
			知技	思考	態度	
1・2	・単元全体の確認をする。 ・シェル・シルヴァスタイン作「大きな木」(絵本)の本田錦一郎訳と村上春樹訳を読み比べ、共通点・相違点等を見出す。	同じ原文をもとにしても、訳者によって異なる訳がなされ、それにより読み手が受ける印象が異なることに気づいている。		●	●	ワークシート OPPシート※
3	漢文の訓読の方法について理解する。	訓点に基づき、訓読文を書き下し文にできている。	●		●	ワークシート OPPシート
4～6	「二千五百年前からのメッセージー孔子の言葉―」より「学而」「顔淵」「為政」の内容を、教科書掲載の和訳を参照しながら、理解する。	読んで理解したことや考えたことを、自分の知識や経験と結びつけている。		●	●	ワークシート OPPシート
7	「子在川上曰」(子罕第九)について、漢和辞典を用いて和訳する。	漢和辞典等で調べたことに基づいて、自分なりの和訳ができている。	●		●	ワークシート OPPシート
8・9	孔子やその弟子及び論語についての知識や孔子の生きた時代、古注・新注が生まれた時代等についての理解を深める。	今後の学習に繋がられるように、作品の周辺人物の人物像や時代背景について理解している。		●	●	ワークシート OPPシート

●・・・形成的評価(指導に活かす評価) ○・・・総括的評価(記録に残す評価)
※OPPシート・・・一枚ポートフォリオ評価でもちいる。このシートに学習者が学習前・中・後の履歴を記録することで、学習や授業に関わる認知過程の実態を可視化され、形成的評価を図ることができる。

10・11	「子在川上曰」(子罕第九)の古注と新注とを比較し、解釈の妥当性について考える。	資料を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを持っている。		●	●	ワークシート OPPシート
12	歴史的仮名遣いの復習を行い、「枕草子」(「春はあけぼの」)を音読する。	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直し、音読することができている。	●		●	ワークシート OPPシート
13・14	「枕草子」(「春はあけぼの」)について、現代語訳をもとに理解し、「古今和歌集」から授業者が作成した資料と比較しながら、作者のものの見方や考え方をとらえる。	文章を読んで理解したことと資料から得た知識をもとに、自分の考えを表現している。		●	●	ワークシート OPPシート
15	「枕草子」(「うつくしきもの」)について、音読ののち、語注をもとに内容を理解する。	語注に基づき、本文の内容を理解している。	●		●	ワークシート OPPシート
16	「枕草子」(「雪のいと高う降りたるを」)について、音読ののち、示された語注をもとに内容を理解する。	語注に基づき、本文の内容を理解している。	●		●	ワークシート OPPシート
17・18	清少納言や「枕草子」が書かれた時代や書かれた意図について、資料を読み、理解する。	作品の周辺人物の人物像や時代背景について理解している。	●		●	ワークシート OPPシート
19	パフォーマンス課題の確認をしたのち、既習の「うつくしきもの」について、三種類の現代語訳(原文により忠実なもの・超訳的なもの・コミカライズされたもの)を読み、それぞれの印象を掴む。	パフォーマンス課題を意識しながら、それぞれの現代語訳の全体的なイメージをつかんでいる。		●	●	ワークシート OPPシート

大阪教育大学附属池田中学校 国語科 永井涼子先生の実践より

評価⑦ 評価計画(4)

20 【本時】	・既習の「春はあけぼの」と「雪のいと高う降りたるを」のいずれかの章段についての異なる三つの現代語訳を精読し、その特徴や表現の効果等について考察する。	既習事項を関連づけて、担当の章段の現代語訳の特徴及び表現の効果について考察し、自分の考えを表現している。		●	●	ワークシート OPP シート
21・22	前時の考察について全体で共有し、「古典」が読み継がれるために必要なことを考える。	三種類の現代語訳について、前時に示した観点から、自分の考えを深めている。		●	●	ワークシート OPP シート
23	パフォーマンス課題に取り組むにあたり、実際の書評を読み、表現や構成の工夫について考える。	読み手を意識した表現や構成について考察し、自分の考えを深めている。		●	●	ワークシート OPP シート
24～25	パフォーマンス課題（書評）に取り組む、完成させる。	読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章・紙面を整えている。	○	○	○	ワークシート OPP シート 書評【パフォーマンス課題】

●…形成的評価（指導に活かす評価） ○…総括的評価（記録に残す評価）

※OPP シート…一枚ポートフォリオ評価でもちいる。このシートに学習者が学習前・中・後の履歴を記録することで、学習や授業に関わる認知過程の実態を可視化され、形成的評価を図ることができる。

大阪教育大学附属池田中学校 国語科 永井涼子先生の実践より

定期テストも総括的評価（**記録に残す評価**）に加える。

（知識・技能、
思考・判断・表現）

評価⑧ 評価計画(5)

本単元のパフォーマンス課題として、書評家になり切って書評を書くという言語活動を行う。具体的には、授業者が提示した「枕草子」の三種類の現代語訳を読み比べ、それぞれの現代語訳が原文の意図や雰囲気をもどの程度反映しているのか、意図や雰囲気を十分に伝えきれていない点があるとすれば、それはどのような点なのか、といったことについて考察し、読み比べた物の中から一冊を選び、書評を書くという活動を行わせる。

Goal（目的）	枕草子を読みたいと思わせるような書評を書く。
Role（役割）	書評家
Audience（相手）	書評雑誌の読者
Situation（状況）	出版社に「今古典がおもしろい！」というテーマで、人々が古典に親しめる本を紹介する原稿の執筆を依頼された。
Product（作品）	書評（A4 サイズ 見開き 1 ページ）
Standard（評価の観点）	<ul style="list-style-type: none">・ 紹介する本に使われている言葉や文体、表現等について、適切な指摘ができているか。・ 自分の考えを論理的に説明するのに適した構成になっているか。・ 読み手を意識した作品になっているか。・ 適切な言葉を使用し、正しい文法で書けているか。

指導者としての
「思い」「願い」

この活動を通じて、生徒たちには、訳はあくまで訳であるため、原文の意図を伝えきれなかったり、場合によっては誤った印象を与えたりすることがあるかもしれないことを理解させた上で、それでも訳があることで文学作品は長く広く読み継がれる可能性があることを認識させたい。そして、自分の言語文化にも、異なる言語文化にも、親しみ、尊重する態度を育てたい。また、作品は読み手を意識して作られていることを理解させ、今後の自分の創作活動につながる表現力を育てたい。

評価⑨ 非認知能力の見取り(1-1)

評価 (OPPシート自己評価)

探究的な数学の学習「どのような考え方を使えば自然界の模様を紐解いていけるのだろうか(中1)」大阪教育大学附属池田中学校 井場恒介先生の実践より

単元を通して
の学習者の
変容

学習前

『図形とはなんですか?』について、あなたの知っていることを書いてください。

線で囲まれたものの形が「図形」。

様々な方法で姿を変え、身の回りに密かに溢れている図形を見つけ、その性質、そして本質を探究していくのが「図形」という授業なのかな、と。

または、数学的な見方で図形を見ると、こういった気づきがあるよ、という着眼点を教える科目でもあるのかもしれない。

学習後

『図形とはなんですか?』について、あなたの知っていることを書いてください。

もともと世界に存在していたありとあらゆる形を、性質や形式の種類ごとにパターン分けし、各パターンに名前をつけたその概念が「図形」なのだと思う。。つまり、世界の1つの捉え方が「図形」という概念を生み出しているのだということ。だから「図形」の性質を学び探究することで、今まで知らなかった世界を知り、もっと良い世界のために活用することができるのだと思う。

そう考えると、図形の授業は、この世界にあふれるありとあらゆる形を知り、理解し、探究することによって、新しい世界の捉え方を学び、よりよい世界のために活用する術を発見する授業なのだろう。多分それを繰り返すことによって、科学技術など、人間によって生み出されたものが発展していくのだと思う。

5章 平面図形

●探究テーマ●
人工物や自然界など、身の回りにある図形の形式をパターン化して捉え、モデル化することは、科学技術の革新につながる。
【概念的な問い】どのような考え方を使えば、自然界の模様を紐解いていけるのか。
【議論的な問い】すべての身の回りの模様をモデル化することは、どの程度、科学技術の革新につながるか。
(ATL) 情報を理論的にまとめ、描写する(コミュニケーション)
議論を形成するために関連する情報を集め、整理する(批判的思考スキル)

→ 社会や生活に生み出すことができる学び?
最高ですよね!!
続けよう!!

学習を振り返って(自己評価)

学習前・中・後を振り返ってみて、何がわかりましたか? また、今回の学習を通してあなたは何かどのように変わりましたか? そのことについてあなたはどのように思いますか? 感想でも構いませんので自由に書いてください。

学習前は、「図形の授業で新しい図形の見方を学ぶ」のだと思っていた。しかし学習後では、「図形の授業で図形を学び、それを活かして世界に貢献することができる」という考え方になっている。そのことから、この授業を通して、図形についての知識を「広げ、活かす」という考え方を身につけていることがわかった。実際、学習中のOPPシートを見ると、「図形の本当の意味」についての気づき→「図形を活かすことの大切さ」というように内容が移り変わっている。

また、今回の総括的評価課題でもあった「AED新設地点特定までの手順」のように、今まで習った知識を理論的にまとめ、整理する、という作業を通して、物事を論理的にまとめ考えるという力もつけることができた。

疑問に思ったことや、考えたことは何ですか

ボロノイ図を発見した人は、いつ、どこで、どのようなきっかけがあって気づいたのだろうか。

→ 気になるよね

1年 組 番

名前

評価⑩ 非認知能力の見取り(1-2)

フィードバックの重要性！ (形成的評価)

① 無限の広がり

今日の授業のタイトルをつけてください。

今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。

今日は作った万華鏡を眺めて遊んだ。
初めはただきれいだなぁという感想しか持たなかったが、みんなの意見を聞いてよく見てみると、確かに対称・回転・平行移動、すべての図形移動を見つけることができる。先生の話から考えると、来週も「一番キレイな人探し」というただ遊ぶだけの回になりそだが、その中でも、数学的な見方を常に持ち続けることができれば良いなと思った。

疑問に思ったこと・知りたことなど

② 万華鏡の法則

今日の授業のタイトルをつけてください。

今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。

今日は万華鏡の模様について分析した。
下記は、個人分析の中で私が出した結論だ。
～三角形の三辺をそれぞれ対称の軸として三角形を対称移動させ、そして新しくできた三角形にも同じことを無限に繰り返していく。そうしてできたのが、万華鏡の模様。～

疑問に思ったこと・知りたことなど

③ 万華鏡の法則②

今日の授業のタイトルをつけてください。

今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。

今日は、レポートの万華鏡に具を手書きで書き込んだ。
特に気づいたことは「どんな具の形だと法則が伝わりやすいかだ。例えば「具の形は左右非対称にする(対称移動させたとき、変化がわかりやすいため)」など。
また、具を描くときに、一部をスクショして回転させたら良いのではないかなという意見が出た。最低何種類のスクショがあればすべての模様が作れるかなどの間にも、数学的な見方・考え方を試して考えていけたら良いなと思う。
ちなみに、今日は鏡が二等辺三角形の万華鏡も見たが、見え方の予想は大方合っていた。図形(今回であれば万華鏡の模様)は「パターン化できなければ、条件を変えられても応用できるという図形の面白さ」を改めて思った。

疑問に思ったこと・知りたことなど

④ 点と線と図形

今日の授業のタイトルをつけてください。

今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。

今日は角の二等分線・垂直二等分線・垂線(2種類)の書き方をマスターした。
角の二等分線・垂直二等分線の性質を考える過程で、線は点の集まりであることがわかる。
先生の話によると、この4種類の先の引き方をマスターするだけで多くの図形が書けるらしいので、今回身につけた作図技術を使って、もっと図形の性質などといった本質を紐解いていくことができれば良いなと思った。

疑問に思ったこと・知りたことなど

⑤ 図形の「なぜ」

今日の授業のタイトルをつけてください。

今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。

前に先生が「めっちゃ大事や」とすごく強調していた「作図のほんとうの意味」。今回は、その中でも「角の二等分線の本当の意味」を大いに使った。(ただ、理解はできたのですが、言語化がうまいことできていません…)
これからは、図形の作図をしていく中で「円が書ける」「線が交わる」といった面白いことが起きたら、「なぜ？」を常に考えることができれば良いと思う。

疑問に思ったこと・知りたことなど

⑥ 作図の真理

今日の授業のタイトルをつけてください。

今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。

今回、作図の中に更に他の図形を見出すことができるかどうか重要だったように思う。私の場合は、「円」の性質を利用して説明した。
前の授業で、「この作図の中には円がかけますよね、なぜでしょう」といったことを探求していた。それを頭に入れてかつもういちど作図に目を移すと、作図中の線や点が円の半径や中心に当たるといことが見えてくる。
要は、作図の性質(例えば角の二等分線の本当の意味)と「作図の中に見える図形の性質」を理解することが大事だったのだと思う。その性質がどのように作図の中で働いているのかを的確に掴むことで、作図できる理由を理解することができるのだと思う。

疑問に思ったこと・知りたことなど

⑦ 作図の本質

今日の授業のタイトルをつけてください。

今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。

今回は、作図の中に「なぜ？」の答えを見つけ出すことが重要になっていた。
三線を通る円を書くには、それぞれを結んだ線の垂直二等分線の交点を中心として円を書くといいらしい。
まだ全然理解できていないが、その理由を「作図の性質」を利用して探求することで、図形のもっと深い所、つまり本質にタッチすることができると感じるのだと思う。

疑問に思ったこと・知りたことなど

⑧ 作図

今日の授業のタイトルをつけてください。

今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。

もちろん、今日
今日のメイン、
知識を活かす
最後の作図
うな問題はかなり、角の二等分線の性質のところでちょっと問題の
解法は思い出して
考え方を覚えてい、ということの
図形の授業で、
もしかしたら
い」ということ
ちなみに、今日
授業・接点を正確
に描けること

疑問に思ったこと・知りたことなど

⑨ 知識と技術、フル稼働

今日の授業のタイトルをつけてください。

今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。

今日は、今まで習った知識はすべてを使って証明をした。具体的には、線分や角の二等分線、垂直二等分線、角、角の二等分線などだ。そこで重要になるのが、「今まで習った知識を使いこなす力」。「どういう方法で作図するんだった」「どういうときを使うんだった」「それは今更へきで図法なんだろうか」…色んなことを考えながらでないと解けない問題になっていた。
そのために、「知識の性質・本質の意味」を理解していけることが重要で、少し問題の形をひねられた時に対応できることになるからだ。例えば今回であれば、線分が角の二等分線にも使えたりということを知らないと、「村長の家から一番近い場所」を求めることができなかった。だからこれから必要になるのは、知識の本質を理解し、それを「使いこなす力」。この力があれば、どんな問題でもよい性質を持っているのか、ということこそをまず知り、その上で「だからこうする」「本質の性質」を踏まえていくことができれば良いと思う。

疑問に思ったこと・知りたことなど

⑩ オンラインは複雑

今日の授業のタイトルをつけてください。

今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。

今日は、新しい垂直二等分線の書き方を考え、班で紹介した後、ワールドカフェ形式で他の班の意見を取り入れた。そこで面白かったのが、「新しくできた」と思っても、実は元ある書き方と同じことだった」というケースが多々あったこと。もちろんかなり独特で面白い作図法を編み出している人もいたが、結局「どういうふうに書いていくか」によって決められている作図法が一箇所から手っ取り早く書ける方法だった。
多分、今までにも様々な数学者たちが独自の作図法を考え、その中で「これが一番簡単じゃない？すごく便利!」と認められたものが世に普及していったのだと思う。「数学は楽をするためにある」といった趣旨のことをよく聞くんが、作図も「楽に、速く」を追求し続けた数学者たちの努力の結晶が、現代にまで残っているのかもかもしれない。

疑問に思ったこと・知りたことなど

⑪ 自然の論理

今日の授業のタイトルをつけてください。

今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。

今日は、前回学んだ作図法を踏まえて「垂直二等分線」を使って、「ボロノイ図(?)」の存在について学んだ。「身の回りには、自然も含めたくさん図形が溢れているな!」みたいな授業は以前にもやった気がするが、「パブル」「顔」「ウミガメ」「トンボ」…などなど本当にびびり自分たちの作図が当てはまってる驚きだ。「自然界に溢れる図形・可能性のうなものを感じた」。「ボロノイ図って、何?」というところまでは行かなかったが、きっと数学の知識で論理的に説明できるのだろう。「自然界の模様をパターン化しその性質を論理的に説明する」ということを頭に入れてこれらの授業を受けたのだと思った。

疑問に思ったこと・知りたことなど

⑫ 定義からの分析

今日の授業のタイトルをつけてください。

今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。

今日は、ボロノイ図について図書室でひたすら調べた。具体的には、「定義」「用途」「具体例(自然界のもの・人工的なものどちらも)」などだ。その結果…
「定義」いくつかの点(母点)をもとに、どの点から一番近いかなによって平面を分割したもの
「人工的な用途」最短ルートを探す・勢力範囲の可視化など(産物を運ぶとき、駅から近くにするお客さん集まりそうだな、学校はどの施設からも近いほうが良いな、などと位置を指定する場合に便利)
【自然界】トウモロコシ・蜘蛛の巣・顔の模様・蜂の巣・パブル・葉脈などなど
その中で、今後役立つそうだったのは、
「わからないうちからあたらすは「定義」を押さえる」という考え方。その定義をもとに自分パターン化すること分析することが重要だとわかった。

疑問に思ったこと・知りたことなど

⑬ 麒麟の謎への第一歩

今日の授業のタイトルをつけてください。

今日の授業で一番大切だと思ったことを書きましょう。

今日の重要な用語「外心」「円心」「ドローネ三角形(図1)」
今日はひたすらボロノイ図を書いた。その時のポイントは、「外心を見つければ」「その外心から円心を作れば」「外心から作らない外心を作ればドローネ三角形(図1)」など。そこからは麒麟の模様の書き方は「図1」で「図2」で「図3」で「図4」で「図5」で「図6」で「図7」で「図8」で「図9」で「図10」で「図11」で「図12」で「図13」で「図14」で「図15」で「図16」で「図17」で「図18」で「図19」で「図20」で「図21」で「図22」で「図23」で「図24」で「図25」で「図26」で「図27」で「図28」で「図29」で「図30」で「図31」で「図32」で「図33」で「図34」で「図35」で「図36」で「図37」で「図38」で「図39」で「図40」で「図41」で「図42」で「図43」で「図44」で「図45」で「図46」で「図47」で「図48」で「図49」で「図50」で「図51」で「図52」で「図53」で「図54」で「図55」で「図56」で「図57」で「図58」で「図59」で「図60」で「図61」で「図62」で「図63」で「図64」で「図65」で「図66」で「図67」で「図68」で「図69」で「図70」で「図71」で「図72」で「図73」で「図74」で「図75」で「図76」で「図77」で「図78」で「図79」で「図80」で「図81」で「図82」で「図83」で「図84」で「図85」で「図86」で「図87」で「図88」で「図89」で「図90」で「図91」で「図92」で「図93」で「図94」で「図95」で「図96」で「図97」で「図98」で「図99」で「図100」で「図101」で「図102」で「図103」で「図104」で「図105」で「図106」で「図107」で「図108」で「図109」で「図110」で「図111」で「図112」で「図113」で「図114」で「図115」で「図116」で「図117」で「図118」で「図119」で「図120」で「図121」で「図122」で「図123」で「図124」で「図125」で「図126」で「図127」で「図128」で「図129」で「図130」で「図131」で「図132」で「図133」で「図134」で「図135」で「図136」で「図137」で「図138」で「図139」で「図140」で「図141」で「図142」で「図143」で「図144」で「図145」で「図146」で「図147」で「図148」で「図149」で「図150」で「図151」で「図152」で「図153」で「図154」で「図155」で「図156」で「図157」で「図158」で「図159」で「図160」で「図161」で「図162」で「図163」で「図164」で「図165」で「図166」で「図167」で「図168」で「図169」で「図170」で「図171」で「図172」で「図173」で「図174」で「図175」で「図176」で「図177」で「図178」で「図179」で「図180」で「図181」で「図182」で「図183」で「図184」で「図185」で「図186」で「図187」で「図188」で「図189」で「図190」で「図191」で「図192」で「図193」で「図194」で「図195」で「図196」で「図197」で「図198」で「図199」で「図200」で「図201」で「図202」で「図203」で「図204」で「図205」で「図206」で「図207」で「図208」で「図209」で「図210」で「図211」で「図212」で「図213」で「図214」で「図215」で「図216」で「図217」で「図218」で「図219」で「図220」で「図221」で「図222」で「図223」で「図224」で「図225」で「図226」で「図227」で「図228」で「図229」で「図230」で「図231」で「図232」で「図233」で「図234」で「図235」で「図236」で「図237」で「図238」で「図239」で「図240」で「図241」で「図242」で「図243」で「図244」で「図245」で「図246」で「図247」で「図248」で「図249」で「図250」で「図251」で「図252」で「図253」で「図254」で「図255」で「図256」で「図257」で「図258」で「図259」で「図260」で「図261」で「図262」で「図263」で「図264」で「図265」で「図266」で「図267」で「図268」で「図269」で「図270」で「図271」で「図272」で「図273」で「図274」で「図275」で「図276」で「図277」で「図278」で「図279」で「図280」で「図281」で「図282」で「図283」で「図284」で「図285」で「図286」で「図287」で「図288」で「図289」で「図290」で「図291」で「図292」で「図293」で「図294」で「図295」で「図296」で「図297」で「図298」で「図299」で「図300」で「図301」で「図302」で「図303」で「図304」で「図305」で「図306」で「図307」で「図308」で「図309」で「図310」で「図311」で「図312」で「図313」で「図314」で「図315」で「図316」で「図317」で「図318」で「図319」で「図320」で「図321」で「図322」で「図323」で「図324」で「図325」で「図326」で「図327」で「図328」で「図329」で「図330」で「図331」で「図332」で「図333」で「図334」で「図335」で「図336」で「図337」で「図338」で「図339」で「図340」で「図341」で「図342」で「図343」で「図344」で「図345」で「図346」で「図347」で「図348」で「図349」で「図350」で「図351」で「図352」で「図353」で「図354」で「図355」で「図356」で「図357」で「図358」で「図359」で「図360」で「図361」で「図362」で「図363」で「図364」で「図365」で「図366」で「図367」で「図368」で「図369」で「図370」で「図371」で「図372」で「図373」で「図374」で「図375」で「図376」で「図377」で「図378」で「図379」で「図380」で「図381」で「図382」で「図383」で「図384」で「図385」で「図386」で「図387」で「図388」で「図389」で「図390」で「図391」で「図392」で「図393」で「図394」で「図395」で「図396」で「図397」で「図398」で「図399」で「図400」で「図401」で「図402」で「図403」で「図404」で「図405」で「図406」で「図407」で「図408」で「図409」で「図410」で「図411」で「図412」で「図413」で「図414」で「図415」で「図416」で「図417」で「図418」で「図419」で「図420」で「図421」で「図422」で「図423」で「図424」で「図425」で「図426」で「図427」で「図428」で「図429」で「図430」で「図431」で「図432」で「図433」で「図434」で「図435」で「図436」で「図437」で「図438」で「図439」で「図440」で「図441」で「図442」で「図443」で「図444」で「図445」で「図446」で「図447」で「図448」で「図449」で「図450」で「図451」で「図452」で「図453」で「図454」で「図455」で「図456」で「図457」で「図458」で「図459」で「図460」で「図461」で「図462」で「図463」で「図464」で「図465」で「図466」で「図467」で「図468」で「図469」で「図470」で「図471」で「図472」で「図473」で「図474」で「図475」で「図476」で「図477」で「図478」で「図479」で「図480」で「図481」で「図482」で「図483」で「図484」で「図485」で「図486」で「図487」で「図488」で「図489」で「図490」で「図491」で「図492」で「図493」で「図494」で「図495」で「図496」で「図497」で「図498」で「図499」で「図500」で「図501」で「図502」で「図503」で「図504」で「図505」で「図506」で「図507」で「図508」で「図509」で「図510」で「図511」で「図512」で「図513」で「図514」で「図515」で「図516」で「図517」で「図518」で「図519」で「図520」で「図521」で「図522」で「図523」で「図524」で「図525」で「図526」で「図527」で「図528」で「図529」で「図530」で「図531」で「図532」で「図533」で「図534」で「図535」で「図536」で「図537」で「図538」で「図539」で「図540」で「図541」で「図542」で「図543」で「図544」で「図545」で「図546」で「図547」で「図548」で「図549」で「図550」で「図551」で「図552」で「図553」で「図554」で「図555」で「図556」で「図557」で「図558」で「図559」で「図560」で「図561」で「図562」で「図563」で「図564」で「図565」で「図566」で「図567」で「図568」で「図569」で「図570」で「図571」で「図572」で「図573」で「図574」で「図575」で「図576」で「図577」で「図578」で「図579」で「図580」で「図581」で「図582」で「図583」で「図584」で「図585」で「図586」で「図587」で「図588」で「図589」で「図590」で「図591」で「図592」で「図593」で「図594」で「図595」で「図596」で「図597」で「図598」で「図599」で「図600」で「図601」で「図602」で「図603」で「図604」で「図605」で「図606」で「図607」で「図608」で「図609」で「図610」で「図611」で「図612」で「図613」で「図614」で「図615」で「図616」で「図617」で「図618」で「図619」で「図620」で「図621」で「図622」で「図623」で「図624」で「図625」で「図626」で「図627」で「図628」で「図629」で「図630」で「図631」で「図632」で「図633」で「図634」で「図635」で「図636」で「図637」で「図638」で「図639」で「図640」で「図641」で「図642」で「図643」で「図644」で「図645」で「図646」で「図647」で「図648」で「図649」で「図650」で「図651」で「図652」で「図653」で「図654」で「図655」で「図656」で「図657」で「図658」で「図659」で「図660」で「図661」で「図662」で「図663」で「図664」で「図665」で「図666」で「図667」で「図668」で「図669」で「図670」で「図671」で「図672」で「図673」で「図674」で「図675」で「図676」で「図677」で「図678」で「図679」で「図680」で「図681」で「図682」で「図683」で「図684」で「図685」で「図686」で「図687」で「図688」で「図689」で「図690」で「図691」で「図692」で「図693」で「図694」で「図695」で「図696」で「図697」で「図698」で「図699」で「図700」で「図701」で「図702」で「図703」で「図704」で「図705」で「図706」で「図707」で「図708」で「図709」で「図710」で「図711」で「図712」で「図713」で「図714」で「図715」で「図716」で「図717」で「図718」で「図719」で「図720」で「図721」で「図722」で「図723」で「図724」で「図725」で「図726」で「図727」で「図728」で「図729」で「図730」で「図731」で「図732」で「図733」で「図734」で「図735」で「図736」で「図737」で「図738」で「図739」で「図740」で「図741」で「図742」で「図743」で「図744」で「図745」で「図746」で「図747」で「図748」で「図749」で「図750」で「図751」で「図752」で「図753」で「図754」で「図755」で「図756」で「図757」で「図758」で「図759」で「図760」で「図761」で「図762」で「図763」で「図764」で「図765」で「図766」で「図767」で「図768」で「図769」で「図770」で「図771」で「図772」で「図773」で「図774」で「図775」で「図776」で「図777」で「図778」で「図779」で「図780」で「図781」で「図782」で「図783」で「図784」で「図785」で「図786」で「図787」で「図788」で「図789」で「図790」で「図791」で「図792」で「図793」で「図794」で「図795」で「図796」で「図797」で「図798」で「図799」で「図800」で「図801」で「図802」で「図803」で「図804」で「図805」で「図806」で「図807」で「図808」で「図809」で「図810」で「図811」で「図812」で「図813」で「図814」で「図815」で「図816」で「図817」で「図818」で「図819」で「図820」で「図821」で「図822」で「図823」で「図824」で「図825」で「図826」で「図827」で「図828」で「図829」で「図830」で「図831」で「図832」で「図833」で「図834」で「図835」で「図836」で「図837」で「図838」で「図839」で「図840」で「図841」で「図842」で「図843」で「図844」で「図845」で「図846」で「図847」で「図848」で「図849」で「図850」で「図851」で「図852」で「図853」で「図854」で「図855」で「図856」で「図857」で「図858」で「図859」で「図860」で「図861」で「図862」で「図863」で「図864」で「図865」で「図866」で「図867」で「図868」で「図869」で「図870」で「図871」で「図872」で「図873」で「図874」で「図875」で「図876」で「図877」で「図878」で「図879」で「図880」で「図881」で「図882」で「図883」で「図884」で「図885」で「図886」で「図887」で「図888」で「図889」で「図890」で「図891」で「図892」で「図893」で「図894」で「図895」で「図896」で「図897」で「図898」で「図899」で「図900」で「図901」で「図902」で「図903」で「図904」で「図905」で「図906」で「図907」で「図908」で「図909」で「図910」で「図911」で「図912」で「図913」で「図914」で「図915」で「図916」で「図917」で「図918」で「図919」で「図920」で「図921」で「図922」で「図923」で「図924」で「図925」で「図926」で「図927」で「図928」で「図929」で「図930」で「図931」で「図932」で「図933」で「図934」で「図935」で「図936」で「図937」で「図938」で「図939」で「図940」で「図941」で「図942」で「図943」で「図944」で「図945」で「図946」で「図947」で「図948」で「図949」で「図950」で「図951」で「図952」で「図953」で「図954」で「図955」で「図956」で「図957」で「図958」で「図959」で「図960」で「図961」で「図962」で「図963」で「図964」で「図965」で「図966」で「図967」で「図968」で「図969」で「図970」で「図971」で「図972」で「図973」で「図974」で「図975」で「図976」で「図977」で「図978」で「図979」で「図980」で「図981」で「図982」で「図983」で「図984」で「図985」で「図986」で「図987」で「図988」で「図989」で「図990」で「図991」で「図992」で「図993」で「図994」で「図995」で「図996」で「図997」で「図998」で「図999」で「図1000」で「図1001」で「図1002」で「図1003」で「図1004」で「図1005」で「図1006」で「図1007」で「図1008」で「図1009」で「図1010」で「図1011」で「図1012」で「図1013」で「図1014」で「図1015」で「図1016」で「図1017」で「図1018」で「図1019」で「図1020」で「図1021」で「図1022」で「図1023」で「図1024」で「図1025」で「図1026」で「図1027」で「図1028」で「図1029」で「図1030」で「図1031」で「図1032」で「図1033」で「図1034」で「図1035」で「図1036」で「図1037」で「図1038」で「図1039」で「図1040」で「図1041」で「図1042」で「図1043」で「図1044」で「図1045」で「図1046」で「図1047」で「図1048」で「図1049」で「図1050」で「図1051」で「図1052」で「図1053」で「図1054」で「図1055」で「図1056」で「図1057」で「図1058」で「図1059」で「図1060」で「図1061」で「図1062」で「図1063」で「図1064」で「図1065」で「図1066」で「図1067」で「図1068」で「図1069」で「図1070」で「図1071」で「図1072」で「図1073」で「図1074」で「図1075」で「図1076」で「図1077」で「図1078」で「図1079」で「図1080」で「図1081」で「図1082」で「図1083」で「図1084」で「図1085」で「図1086」で「図1087」で「図1088」で「図1089」で「図1090」で「図1091」で「図1092」で「図1093」で「図1094」で「図1095」で「図1096」で「図1097」で「図1098」で「図1099」で「図1100」で「図1101」で「図1102」で「図1103」で「図1104」で「図1105」で「図1106」で「図1107」で「図1108」で「図1109」で「図1110」で「図1111」で「図1112」で「図1113」で「図1114」で「図1115」で「図1116」で「図1117」で「図1118」で「図1119」で「図1120」で「図1121」で「図1122」で「図1123」で「図1124」で「図1125」で「図1126」で「図1127」で「図1128」で「図1129」で「図1130」で「図1131」で「図1132」で「図1133」で「図1134」で「図1135」で「図1136」で「図1137」で「図1138」で「図1139」で「図1140」で「図1141」で「図1142」で「図1143」で「図1144」で「図1145」で「図1146」で「図1147」で「図1148」で「図1149」で「図1150」で「図1151」で「図1152」で「図1153」で「図1154」で「図1155」で「図1156」で「図1157」で「図1158」で「図1159」で「図1160」で「図1161」で「図1162」で「図1163」で「図1164」で「図1165」で「図1166」で「図1167」で「図1168」で「図1169」で「図1170」で「図1171」で「図1172」で「図1173」で「図1174」で「図1175」で「図1176」で「図1177」で「図1178」で「図1179」で「図1180」で「図1181」で「図1182」で「図1183」で「図1184」で「図1185」で「図1186」で「図1187」で「図1188」で「図1189」で「図1190」で「図1191」で「図1192」で「図1193」で「図1194」で「図1195」で「図1196」で「図1197」で「図1198」で「図1199」で「図1200」で「図1201」で「図1202」で「図1203」で「図1204」で「図1205」で「図1206」で「図1207」で「図1208」で「図1209」で「図1210」で「図1211」で「図1212」で「図1213」で「図1214」で「図1215」で「図1216」で「図1217」で「図1218」で「図1219」で「図1220」で「図1221」で「図1222」で「図1223」で「図1224」で「図1225」で「図1226」で「図1227」で「図1228」で「図1229」で「図1230」で「図1231」で「図1232」で「図1233」で「図1234」で「図1235」で「図1236」で「図1237」で「図1238」で「図1239」で「図1240」で「図1241」で「図1242」で「図1243」で「図1244」で「図1245」で「図1246」で「図1247」で「図1248」で「図1249」で「図1250」で「図1251」で「図1252」で「図1253」で「図1254」で「図1255」で「図1256」で「図1257」で「図1258」で「図1259」で「図1260」で「図1261」で「図1262」で「図1263」で「図1264」で「図1265」で「図1266」で「図1267」で「図1268」で「図1269」で「図1270」で「図1271」で「図1272」で「図1273」で「図1274」で「図1275」で「図1276」で「図1277」で「図1278」で「図1279」で「図1280」で「図1281」で「図1282」で「図1283」で「図1284」で「図1285」で「図1286」で「図1287」で「図1288」で「図1289」で「図1290」で「図1291」で「図1292」で「図1293」で「図1294」で「図1295」で「図1296」で「図1297」で「図1298」で「図1299」で「図1300」で「図1301」で「図1302」で「図1303」で「図1304」で「図1305」で「図1306」で「図1307」で「図1308」で「図1309」で「図1310」で「図1311」で「図1312」で「図1313」で「図1314」で「図1315」で「図1316」で「図1317」で「図1318」で「図1319」で「図1320」で「図1321」で「図1322」で「図1323」で「図1324」で「図1325」で「図1326」で「図1327」で「図1328」で「図1329」で「図1330」で「図1331」で「図1332」で「図1333」で「図1334」で「図1335」で「図1336」で「図1337」で「図1338」で「図1339」で「図1340」で「図1341」で「図1342」で「図1343」で「図1344」で「図1345」で「図1346」で「図1347」で「図1348」で「図1349」で「図1350」で「図1351」で「図1352」で「図1353」で「図1354」で「図1355」で「図1356」で

評価⑪ 非認知能力の見取り(1-3)

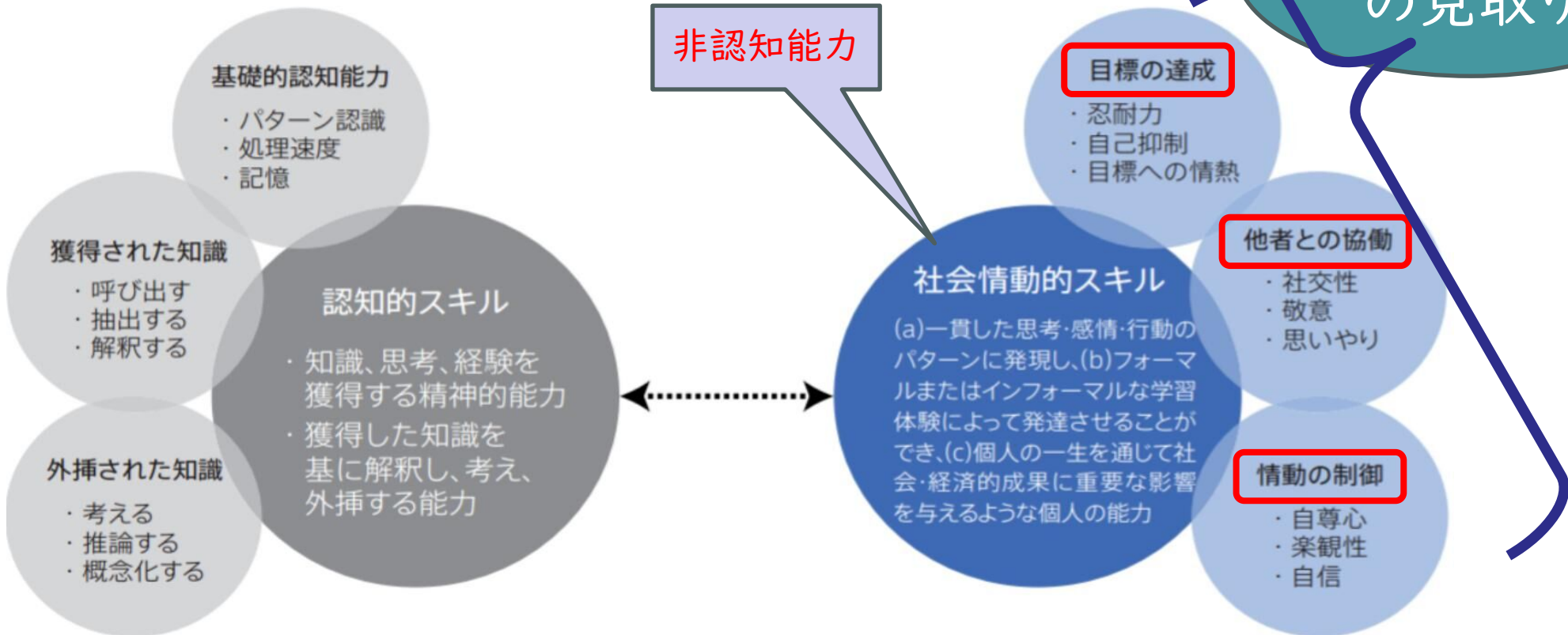
OECDの研究

OPPAの活用
(One Page Portfolio Assessment)

学習者の変容

社会情動的スキル
の見取り

認知的スキル、社会情動的スキルのフレームワーク



出典：OECD(2015)

島本一中授業研究会資料(令和6年12月6日)より

国立大学法人 大阪教育大学

評価⑫ 非認知能力の見取り(1-4)

非認知を見取るプロンプトと分析結果（試案③）

分析・整理 + 伸長ワードの抽出 + 学習者へのサポート(アドバイス)

添付された文書（OPPシート等の振り返りシート）から、非認知能力に関してポジティブに見取れる部分を3つのカテゴリに分けて、それぞれの学習前・学習後の変化や自己評価の内容、2枚目の記述も踏まえて分析・整理してください。また、それぞれについて、3つのカテゴリの何が伸長したのかも記述してください。加えて、今後の学習に対する取組アドバイスも最後に示してください。

3つのカテゴリ

1. 目標の達成（忍耐力，自己抑制，目標への情熱）
2. 他者との協働（社交性，敬意，思いやり）
3. 情動の制御（自尊心，楽観性，自信）

※ 非認知のカテゴリは，社会情動的スキル（OECD,2015）を参照

※ 生成AI “Copilot” を活用。回答は筆者が編集

評価⑬ 非認知能力の見取り(1-5)

1. 目標の達成(忍耐力, 自己抑制, 目標への情熱)

①-1 学習前の様子

- ・「図形の授業で新しい図形の見方を学ぶ」と捉えており、知識の習得が目的だった。
- ・作図や図形の性質に対する理解は断片的で、目標への情熱は限定的。

①-2 学習後の変化

- ・「図形を活かして世界に貢献する」という視点に変化し、学びの目的が社会的意義へと広がった。
- ・「目的・目標・手段を履き違えないようにする」といった柔軟な思考が育まれ、自己抑制力が向上。
- ・「知識の本質を理解し、使いこなす力が必要」と認識し、目標達成への情熱が高まっている。

② 自己評価の内容

- ・「図形の知識を広げ、活かす」という姿勢が定着。
- ・「論理的にまとめ、整理する力がついた」と自己評価しており、忍耐力と計画性の向上が見られる。

③ 2枚目の記述からの補足

- ・「作図の中に円が見える理由を探る」「転移スキルを意識する」など、深い探究心と継続的な努力が見られる。

④ 伸長した要素: 目標への情熱と自己抑制

評価⑭ 非認知能力の見取り(1-6)

2. 他者との協働(社交性, 敬意, 思いやり)

①-1 学習前の様子

- ・個人の気づきや分析が中心で、協働的な学びは限定的だった。

①-2 学習後の変化

- ・「ワールドカフェ形式で他の班の意見を取り入れた」「みんなの意見を聞いてよく見てみると」など、他者との協働が活発化。
- ・「新しい作図法を考え、紹介し合う」など、社交性と敬意をもって学び合う姿勢が育まれている。

② 自己評価の内容

- ・「自分の学びを発信できる総括的評価課題に活かしたい」と記述しており、他者との協働を通じた自己成長が見られる。

③ 2枚目の記述からの補足

- ・「自然界の模様をパターン化し、論理的に説明する」など、他者の視点や社会的文脈を取り入れた学びが進んでいる。

④ 伸長した要素: 敬意と思いやり

評価⑮ 非認知能力の見取り(1-7)

3. 情動の制御(自尊心, 楽観性, 自信)

①-1 学習前の様子

- ・図形に対する興味はあるものの、「言語化がうまくできない」など、自己表現に不安が見られた。

①-2 学習後の変化

- ・「図形の面白さを改めて思った」「本質にタッチできた」といった記述から、自信と楽観性が育まれている。
- ・「知識の性質・本当の意味を理解し、人に説明できるほどに理解することが必要」と、自尊心の高まりが見られる。

② 自己評価の内容

- ・「図形の知識を使って世界に貢献できる」と捉え直し、自己効力感が向上。
- ・「図形の授業の目的は、生活に活かすこと」と認識し、前向きな姿勢が定着。

③ 2枚目の記述からの補足

- ・「自然界に通ずる図形の可能性を感じた」「麒麟の模様の書き方を論理的に説明」など、自信をもって探究する姿勢が見られる。

④ 伸長した要素: 自信と楽観性

評価⑯ 非認知能力の見取り(1-8)

◎今後の学習への取り組みアドバイス

1. 転移スキルの強化

これまでの知識を新しい問題に応用する力が育まれているので、「この場面で使える知識は何か？」を意識する習慣を続けましょう。

2. 意味の探究を継続する

「なぜその作図が成り立つのか」「その性質は何か」といった問いを持ち続けることで、知識が深まり、論理的思考力がさらに伸びます。

3. 協働的な学びの場を活かす

他者の視点やアイデアを積極的に取り入れることで、より広い視野と柔軟な思考が育まれます。ワールドカフェ形式などの活動を大切に。

4. 自己表現の練習

自分の気づきや考えを言語化する力は、学びの質を高める鍵です。図形の性質や意味を「誰かに説明する」つもりで整理してみましょう。

評価⑰ 非認知能力の見取り(2-1)

歴史：江戸時代の幕府政治の動き 学び実感プリント

教科書 P.128-133

2組

単元を貫く問い 予想を書こう！

★財政問題を克服する時には、どのような政策が必要だろう？ 江戸時代を再現する。

単元「江戸時代の幕府政治の動き」評価基準

思考・判断・表現

S. Aに加えて、その内容が優れている。
(教科書の内容に留まらない)
A. 単元の学習を十分に踏まえて、「経済の発展」と「福祉の充実」のどちらを重視するべきか、自らの主張とそう判断した理

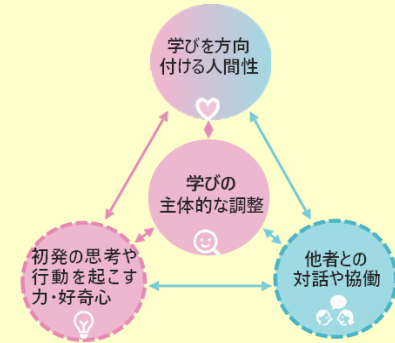
主体的に学習に取り組む態度

S. Aに加えて、その内容が優れている。
(自分なりの工夫が見られる、気付きや疑問が鋭いなど)
A. 学び実感プリントが完成しており、十分に毎回の授業内容をまとめたり、自ら

○「学びを方向付ける人間性」を見取る

- ・初発の思考や行動
- ・学びの主体的な調整
- ・対話と協働

※「豊かな学びに繋がる学習評価の在り方（令和7年7月4日 教育課程企画特別部会）」を参照。
※ 生成AI“Copilot”を活用。回答は筆者が編集



【4 松平の政治】①どんな政策を行ったか②経済、福祉はどのように変わったか
①寛政の改革という、ききんに備えて米をたくわえさせたり、倭約を
めたりして農業を重視。お政策で福祉を充実させていた。②町民と
反対に、作ったものは江戸幕府にこれほど進んで経済は衰退した福祉は発展

単元を貫く問い

★財政問題を克服する時には、どのような政策が必要だろう？ 財政問題を解決
するには経済の発展より、福祉の充実の方が大切だと思う。理由が、今だ
けで見たら経済の発展が大切だと思うかもしれない。長い目で見たら福
祉の充実の方が重要になっていくと思うから、お経済の発展を重視してい
るとは大間違いだ。有裕な人は多いけど、貧乏な人は困る。その貧富の差が毎
いにつながらるかもしれないから、お経済の発展を重視している人、お金
を貯めたら米をたくわえることもできる」という意見にも納得した。お考えたら福

せ経済の発展はいいけど、倭約や農業を重視して福祉の充実
を実現するための政策をたてたりはどの解決策があることを知った。
でもこの経済と福祉は両立するのが難しく、江戸時代では「経済」を重視する政治
と「福祉」を重視する政治が大きく違いが生まれていた。でも結局はバランスよくするのが良いと思う。
その他、疑問点やもっと知りたかったこと、感想などがあれば書いてください。

なぜ、江戸時代の人々は、経済か福祉かを大げんにかけたような
政治を行っていたのだろう。どちらもバランスよくしようという案がな
ぜ生まれなかったのだろうと思った。もしかしたら、この時代なりの問題点
があり、両立が難しかったのかかもしれない。でも昔にこんな極端なこ
とをしていたから今の政治が落ちているのかなとも考えたので、この出来事や学んだ
ことをたくさんあるのかなと感じた。

評価⑱ 非認知能力の見取り(2-2)

1. 初発の思考や行動

★抽出された内容

- 「財政問題を克服する時には、どのような政策が必要だろう?」という問いに対して、「少子高齢化を解決する」「福祉の充実の方が大切」と自分の考えを明確に記述。
- 「経済の発展を重視しているときに、大災害が起きたら…貧富の差が争いにつながるかもしれない」と社会的影響を想像。

★分析

初発の思考において、自分の生活や社会の現状と歴史的課題を結びつけて考える力を発揮しています。単なる知識の暗記ではなく、「今の社会にとって何が大切か」という価値判断を含んだ思考が見られ、これは人間性の根幹である「倫理的・社会的感受性」の表れです。

2. 学びの主体的な調整

★抽出された内容

- 「この単元を学習する前は財政問題についても何も知らなかった」と自己認識を示し、「経済と福祉は両立するのが難しい」と学習を通じて得た気づきを記述。
- 「でも結局はバランス良くするのが良いと思う」と、学習を通じて自分の考えを調整。

★分析

学習を通じて自分の考えを更新し、より複眼的な視点を獲得している点が高く評価できます。これは「メタ認知的な調整力」の発揮であり、学びを単なる情報取得ではなく、自己の価値観や判断力の成長につなげている証です。

評価⑬ 非認知能力の見取り(2-3)

3. 対話と協働

★抽出された内容

- ・「経済の発展を重視している人へ『みんながお金を持ったら、米をたくわえることもできる』という意見にとっても納得した」と、他者の意見に触れた記述。
- ・「なぜ、江戸時代の人には経済か福祉かを天びんにかけたような政治を行っていたのだろう」と、歴史的背景に対する問いを立てている。

★分析

他者の意見に耳を傾け、納得したことを率直に表現している点は、対話的な姿勢の表れです。また、歴史的な文脈に対して疑問を持ち、背景を探ろうとする姿勢は、協働的な探究の出発点となります。これは「共感的理解」と「探究的対話力」の萌芽といえます。

◎今後の学習に対する取組アドバイス

観点	アドバイス
思考の深化	歴史的な事象を現代社会と照らし合わせて考える力があるので、今後は「なぜその政策が選ばれたのか」「他にどんな選択肢があったのか」といった因果関係や選択の背景をさらに掘り下げるとよいでしょう。
主体的な調整	自分の考えを変化させる力があるので、今後は「複数の立場からの見方」を意識して、対立する意見を比較検討する力を育てていくと、より説得力のある主張ができます。
対話と協働	他者の意見に納得する姿勢があるので、グループでの議論や共同探究の場で「問いを共有する」「他者の視点を取り入れる」ことを意識すると、より深い学びにつながります。

評価②⑩ 非認知能力の見取り(3-1)

探究課題

3年 組 番 名前

『新しいものにつくりについて探究する』



本日の探究テーマ: 今日の授業で探究する課題設定 月 日 ()	本日の探究テーマ: 探掘り 9月19日(金)	本日の探究テーマ: 中間発表を行う 9月24日(水)
テーマの背景と目的:	テーマの背景と目的: 中間発表に向けて行っている	テーマの背景と目的: 本番に向けて、小西先生に
今日のテーマが設定された経緯と理由	経緯と現状: 課題はたくさんあったが、解決策	経緯と現状: 課題をもち、改善していく
課題設定に至った話の流れと現在の状態	外資が来ようとしている	あると酷

- 「自ら考え判断し行動できる, 違いを理解し自他を尊重する子ども」を見取る
- 1.【自己表現力】自分の意見をつくる力・感じたことを自分なりに表現する力
 - 2.【課題探究力】チャレンジする力・学ぶ力
 - 3.【社会参画力】他者を意識する力・人を大切にする力・人と関わる力

※「みづまるキッズプラン～遊びと学びをつなぐその先へ～(令和6年3月島本町教育委員会)」を参照
 ※生成AI“Copilot”を活用。回答は筆者が編集



探究課題を通して身に着けた資質・能力や課題を通して見出した発見や今後の自身の課題など 10月28日(火)

昨年度の探究課題では、自分1人で考えるor先生からアドバイスをもらうで自分の課題を改善していった。今年度は、先生が行うことで、自分が思いがけないような意見が出て、視野を広げるという点で、1人で考える時は自分の考えをうまく表現できなかった。グループで行う時は、自分の意見をグループの人に伝えるように説明するとか、必ずかられた。先生のアドバイスを自分の意見とより深く考えることができた。先生から、自分の意見を伝える機会があると思うけど、その時にどうすれば相手に伝わるのか、自分の意見に自信が持てるのか、よく考えて発言したいと思う。いつも計画性がなく、計画をしっかりと立て、より進んで行動できるように自分の課題を、

評価②① 非認知能力の見取り(3-2)

1. 自己表現力（自分の意見をつくる力・感じたことを自分なりに表現する力）

★抽出された内容

- 「自分の意見をグループの人達に伝わるように説明するのがむずかしかった」と振り返り、**自分の考えを伝えることへの課題意識**を持っている。
- 「自分の意見に偏りがなく、よく考えて発言したい」と**今後の発言に対する姿勢を明確**にしている。

★分析

自分の考えを言語化することの難しさを実感しながらも、**それを乗り越えようとする意志**を持っています。これは、自己表現力の発達過程において非常に重要な気づきであり、「**伝える力**」だけでなく「**伝わる力**」への**意識**が芽生えている証です。

2. 課題探究力（チャレンジする力・学ぶ力）

★抽出された内容

- 「ターゲットがあいまい」「提案がごちゃごちゃしている」など、**課題の構造的な問題点を自ら発見**。
- 「各自違うスライドを改善する」「課題を各自さがしてくる」など、具体的な行動計画を立てている。
- 「計画性がなく、計画をしっかりと立て、よゆうをもって行動できていないのが私の課題」と**自己分析**。

★分析

探究活動の中で、**課題の本質に迫ろうとする姿勢**が随所に見られます。特に「曖昧さの整理」や「改善案の立案」など、課題に対して能動的に取り組む姿勢は、探究力の核となる「**構造化する力**」「**改善する力**」が**育っている**ことを示しています。

評価② 非認知能力の見取り(3-3)

3. 社会参画力(他者を意識する力・人を大切にする力・人と関わる力)

★抽出された内容

- ・「4人で行うことで、自分が思いつかないような意見が出て、視野を広げることができた」と協働の価値を実感。
- ・「ブキム(不器用)のおかげで自分の意見をより深く考えることができた」と、他者との違いを受け入れ、学びに変えている。

★分析

他者との関わりの中で自分の視野が広がることを実感しており、違いを尊重する姿勢が育まれています。特に「不器用な仲間の存在が自分の思考を深めるきっかけになった」という記述は、協働の本質を理解している証であり、社会参画力の成熟が見られます。

◎今後の学習に対する取組アドバイス

観点	アドバイス
自己表現力	自分の意見を伝える力が育っているので、今後は「相手の立場を想定した説明」や「図や例を使った補足」など、伝え方の工夫を意識するとさらに効果的です。
課題探究力	課題の構造を見抜く力があるため、今後は「仮説を立てて検証する」「複数の視点から評価する」など探究の論理性を高める活動に挑戦するとよいでしょう。
社会参画力	他者との違いを受け入れる力があるので、今後は「異なる価値観をつなぐ役割」や「対話を促進するファシリテーター的な立場」に挑戦すると、より深い協働が可能になります。

さいごに

さいごに

- ・探究学習を通じて、自己・社会の Well-being の探究者である生涯学習者を育む。
→「行動力」から「新たな価値観の創出」できるしかけ
- ・「探究を軸」にした単元設計, 授業設計
→「逆向き設計（目標→評価→計画）」
→「単元を俯瞰する」教科書の配列にこだわらない。
→「児童・生徒の主体性」ファシリテーターとしてのスタンス
- ・子ども（幼児・児童・生徒）は「優秀な学び手」 知的好奇心であふれている
…「みづまるキッズプラン」の概念の有効活用
- ・先進技術（生成AIなど）、先導的な研究の有効活用
- ・学校（チーム）としての「目標」「評価」「計画」の共通認識, そして何よりも「協働性」